

## □ 男女平等参画社会の形成について

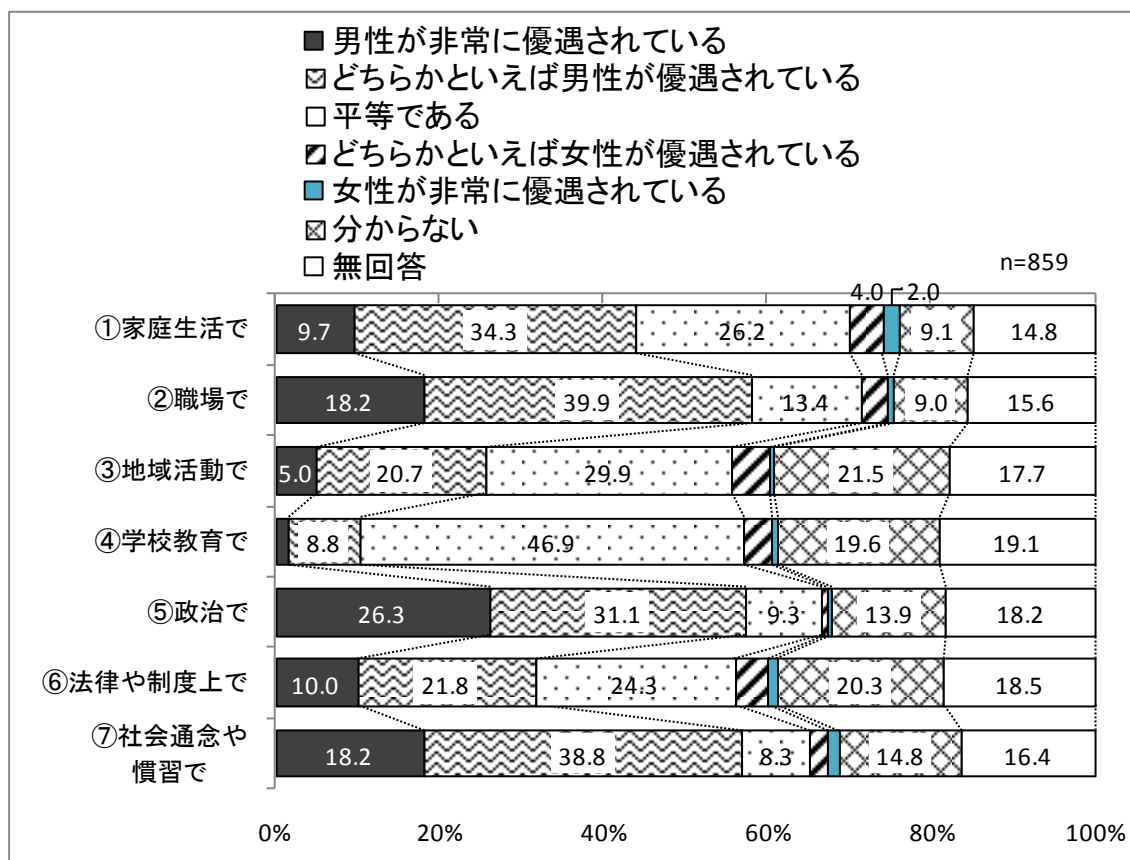
### 問20 男女の地位の平等感について

あなたは、現状において次の分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。下の選択肢から1つを選んで番号を記入してください。

⇒男女が平等であるのは「学校教育」のみ、「職場」「政治」「社会通念や慣習」では男性優遇の割合が特に高い。

男女の地位の平等感について（全体）

単位（％）



上記7分野における男女の地位の平等感について聞いたところ、最も平等と感じられているのは「学校教育」で、「平等である」の割合が46.9%となっている。

「地域活動」では、「平等である」の割合が29.9%、「男性の方が優遇」（「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性が優遇されている」）が25.7%となっている。

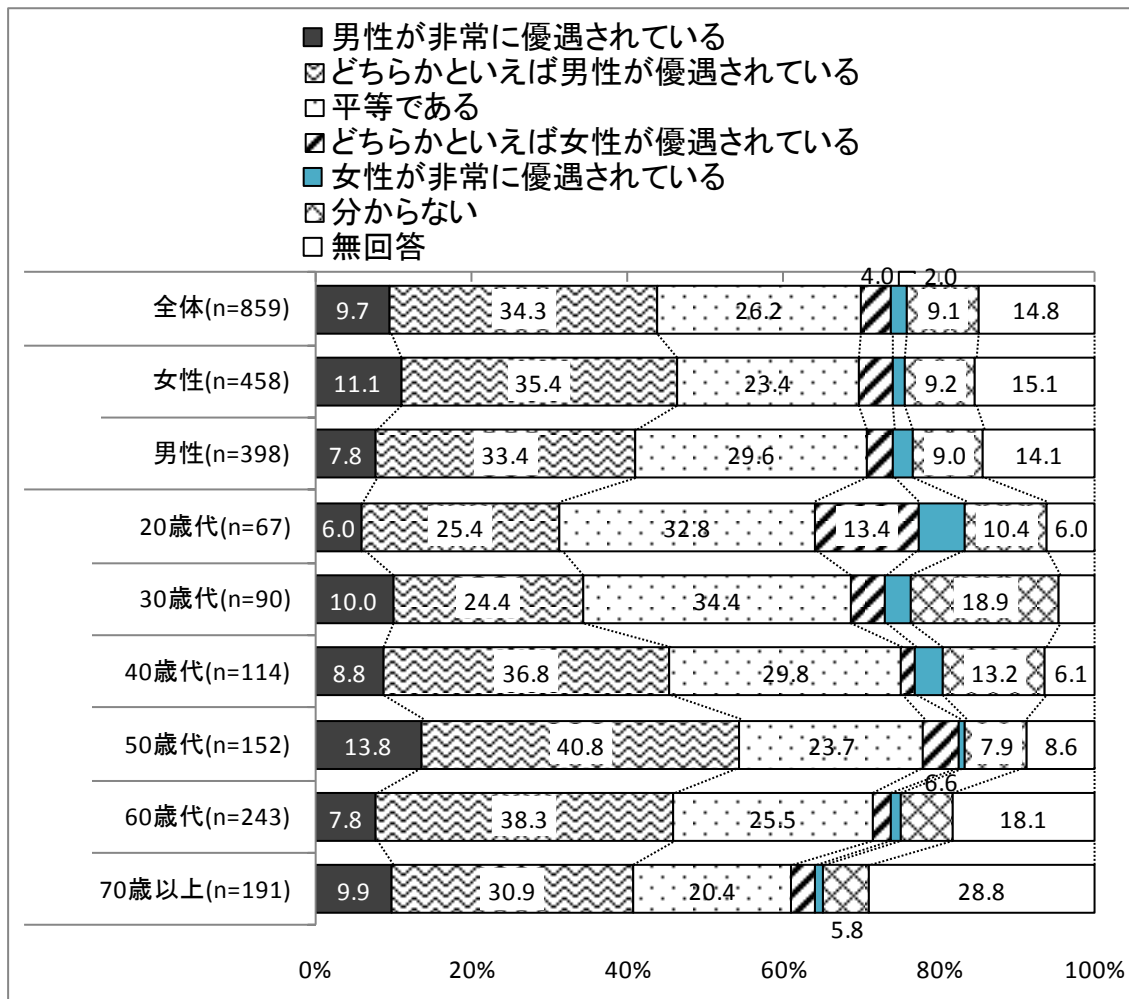
残りの5分野は、「男性の方が優遇」の割合が高く、特に「職場」「政治」「社会通念や慣習」の3分野では、「男性の方が優遇」が50%を超えている。

① 家庭生活で

⇒ 「男性の方が優遇」が44%、「平等」が約26%

家庭生活（全体・性別・年代別）

単位（%）



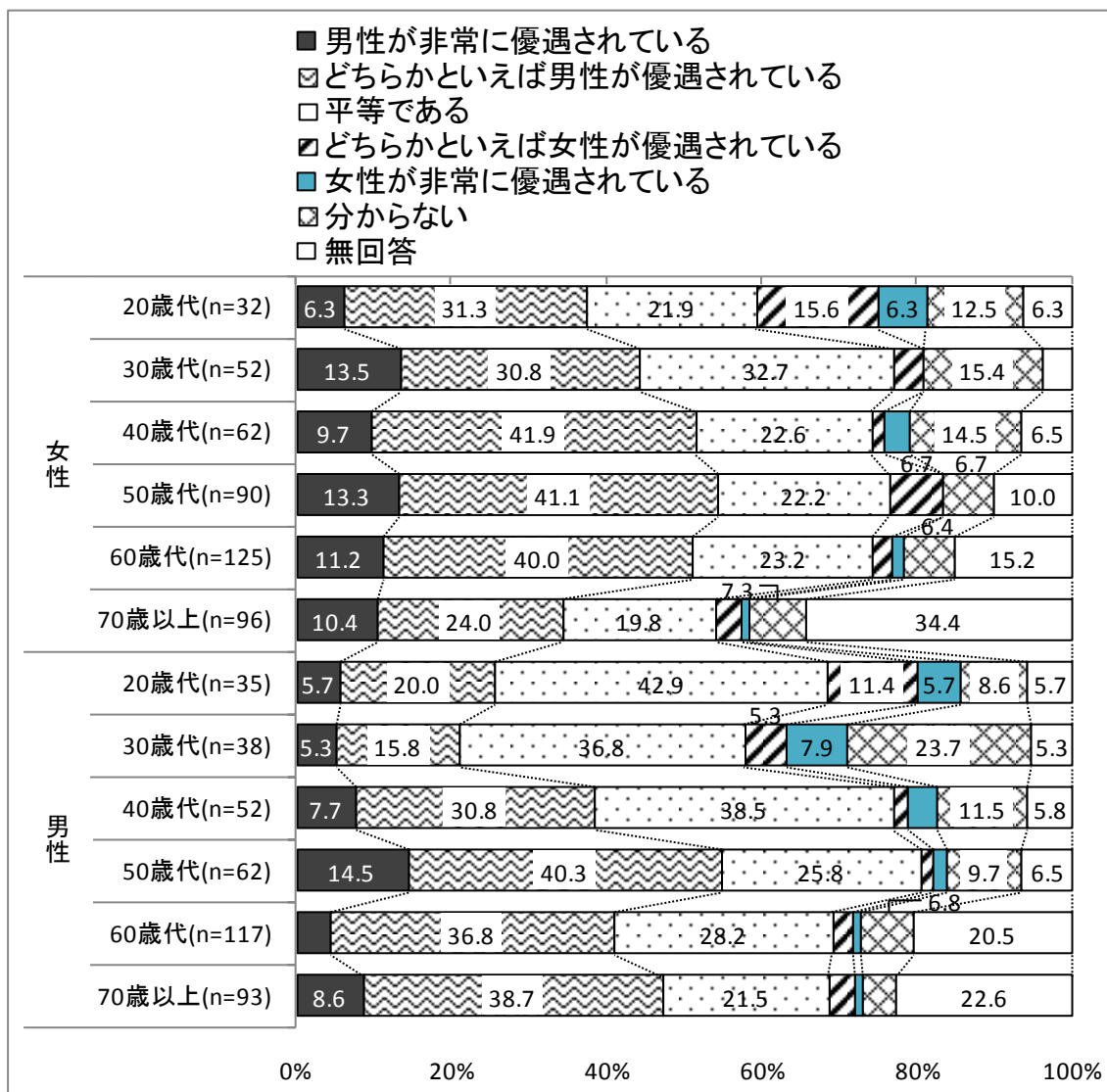
家庭生活における平等感について聞いたところ、全体では、「男性の方が優遇」の割合が44.0%と最も高く、「平等である」が26.2%、「女性の方が優遇」（「女性が非常に優遇されている」「どちらかといえば女性が優遇されている」）が6.0%となっている。

性別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は女性の方が高く、「平等である」は男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は50歳代が最も高くなっている。「平等である」が他の年代に比べ20～30歳代では高くなっている。

家庭生活（性×年代別）

単位（％）

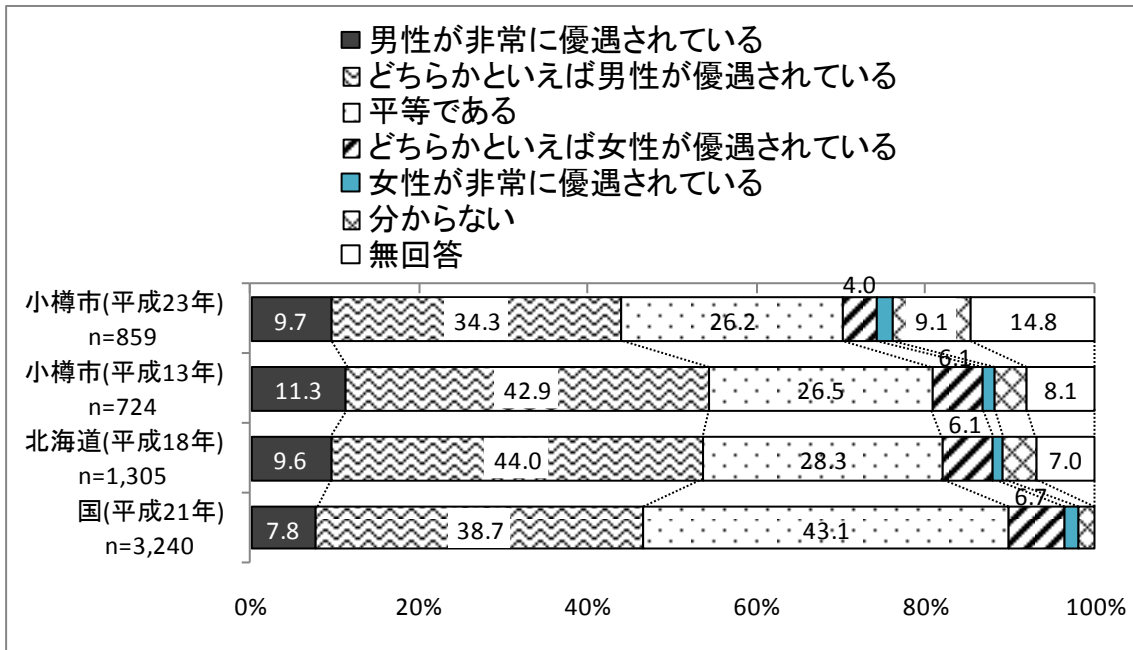


性×年代別で見ると、女性では、「男性の方が優遇」の割合が20歳代、70歳以上を除く年代で高くなっている。

男性では、「平等である」の割合が20～30歳代で、「男性の方が優遇」が50歳以上で高くなっている。

家庭生活（前回調査・北海道・国との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、「男性の方が優遇」の割合が減少し、「分からない」「無回答」が増加している。

北海道と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

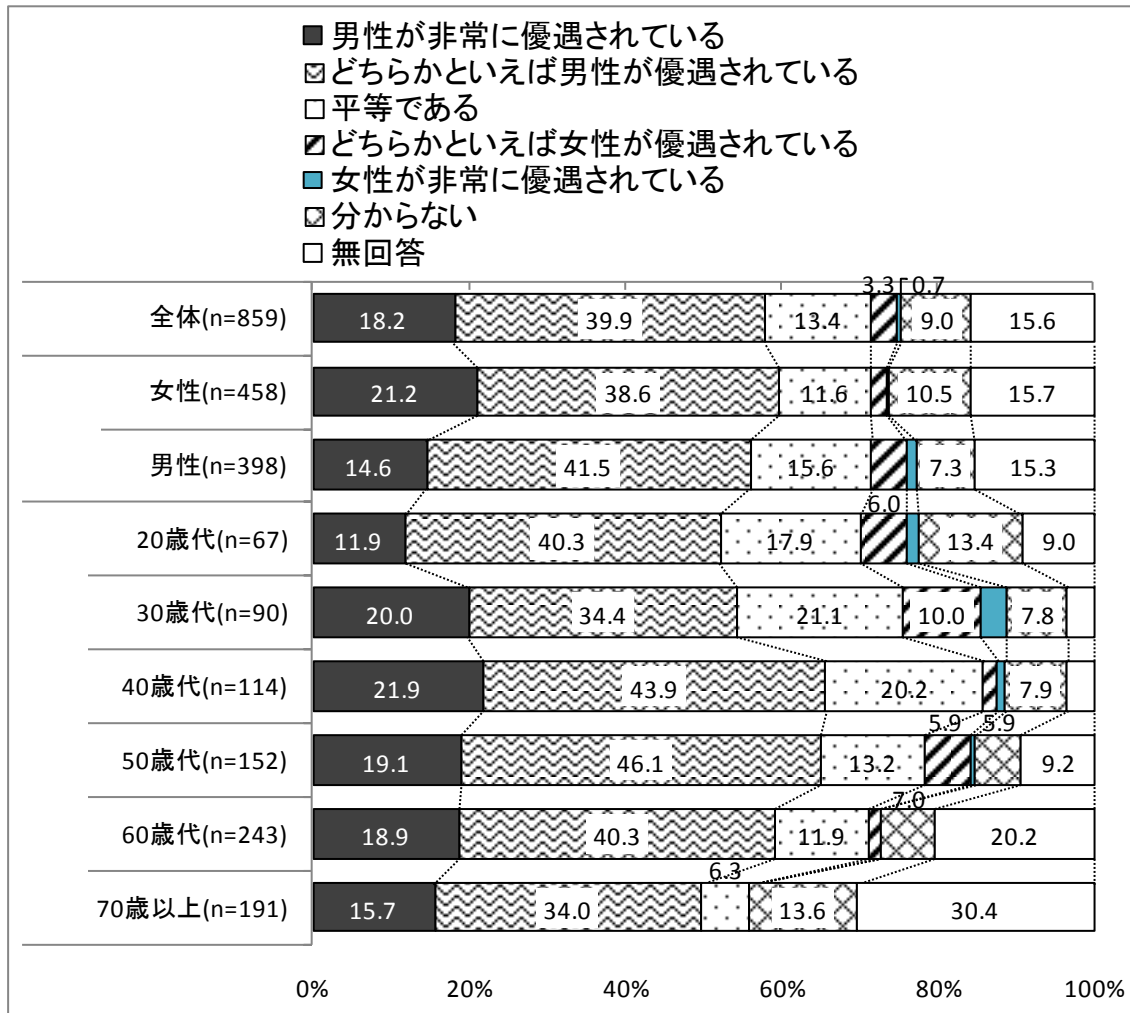
国と比較すると、「平等である」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

## ② 職場で

⇒ 「男性の方が優遇」が約58%、「平等」が約13%

職場（全体・性別・年代別）

単位（%）



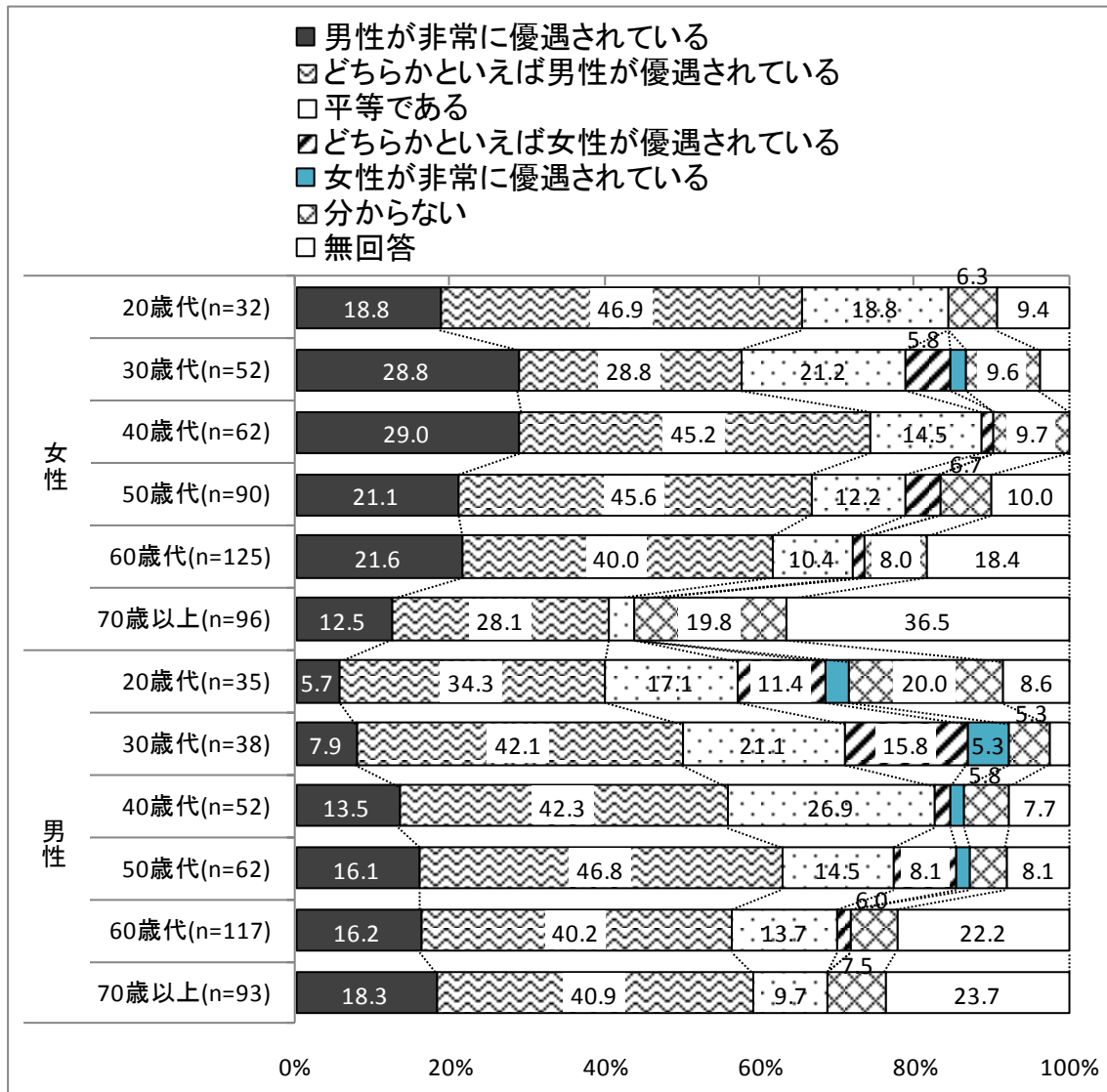
職場における平等感について聞いたところ、全体では、「男性の方が優遇」の割合が58.1%と最も高く、「平等である」が13.4%、「女性の方が優遇」が4.0%となっている。職場では6割近くの人が、男性の方が優遇されていると感じている。

性別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇」の割合が、40～50歳代で高くなっている。

職場（性×年代別）

単位（％）

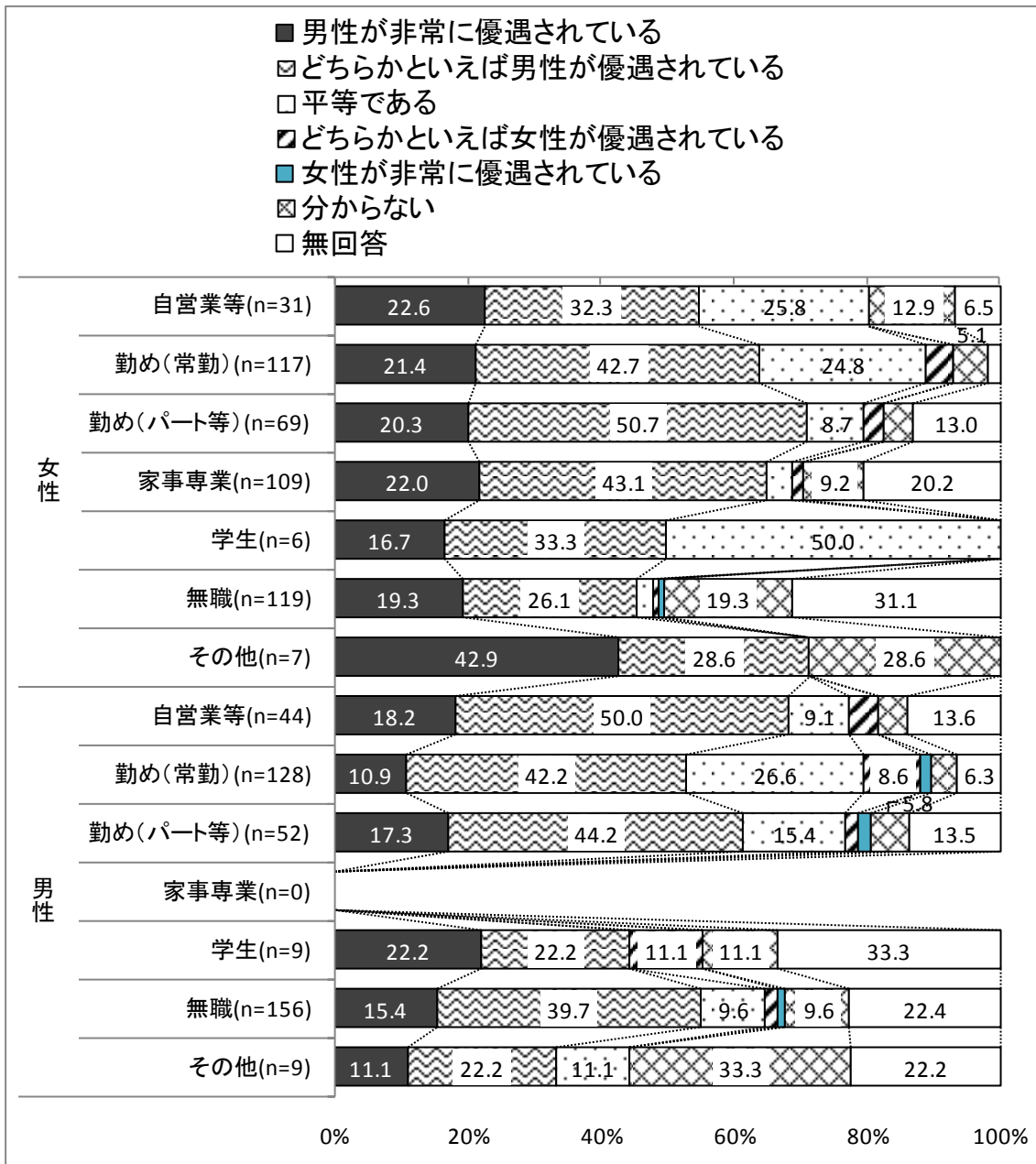


性×年代別で見ると、女性では、「男性の方が優遇」の割合が40歳代で74.2%と最も高くなっている。

男性では、「平等である」の割合が40歳代で、「女性の方が優遇」が30歳代で最も高くなっている。

職場（性×職業別）

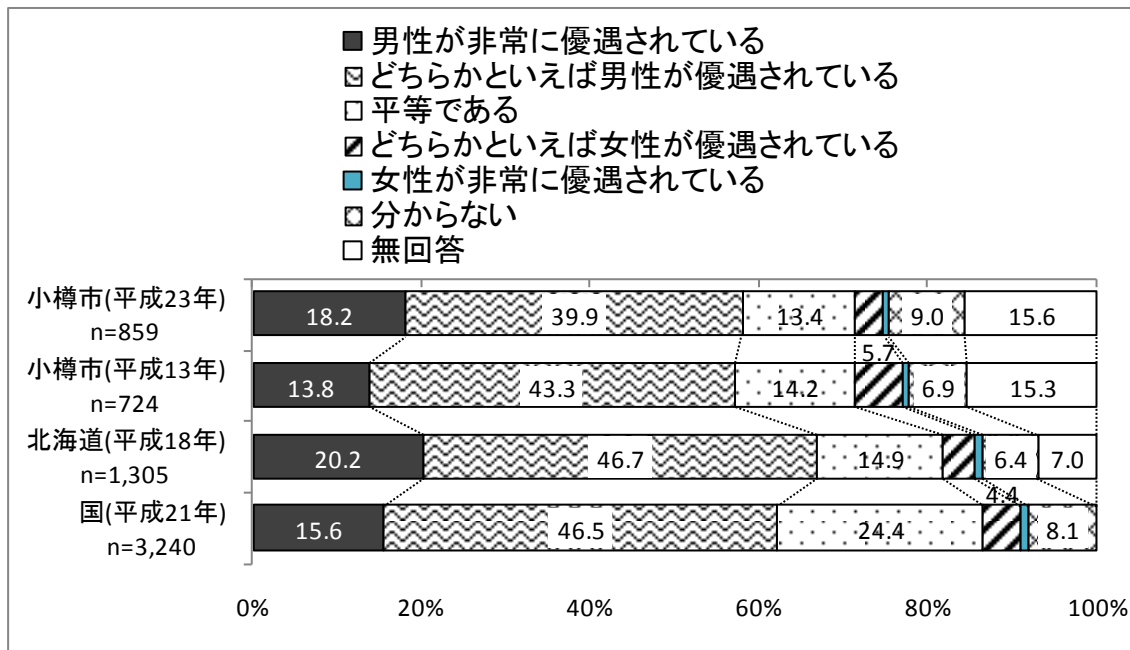
単位（％）



性×職業別で見ると、「男性の方が優遇」の割合が、女性は勤めている人（パート等）が、男性は自営業等の人が高くなっている。

職場（前回調査・北海道・国との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、大きな変化は見られない。

北海道と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

国と比較すると、「平等である」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

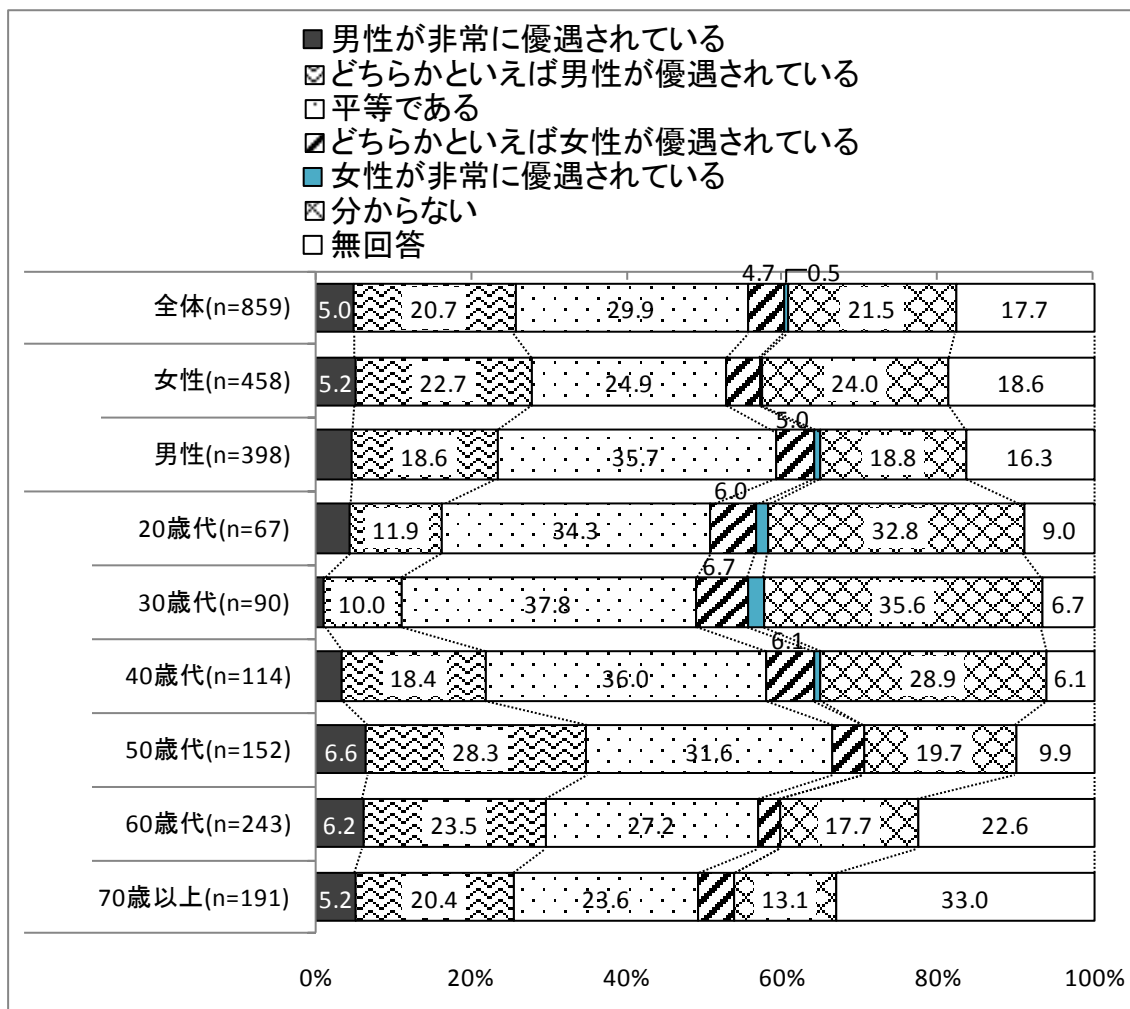


### ③ 地域活動で

⇒ 「平等」が約30%、「男性の方が優遇」が約26%

地域活動（全体・性別・年代別）

単位（%）



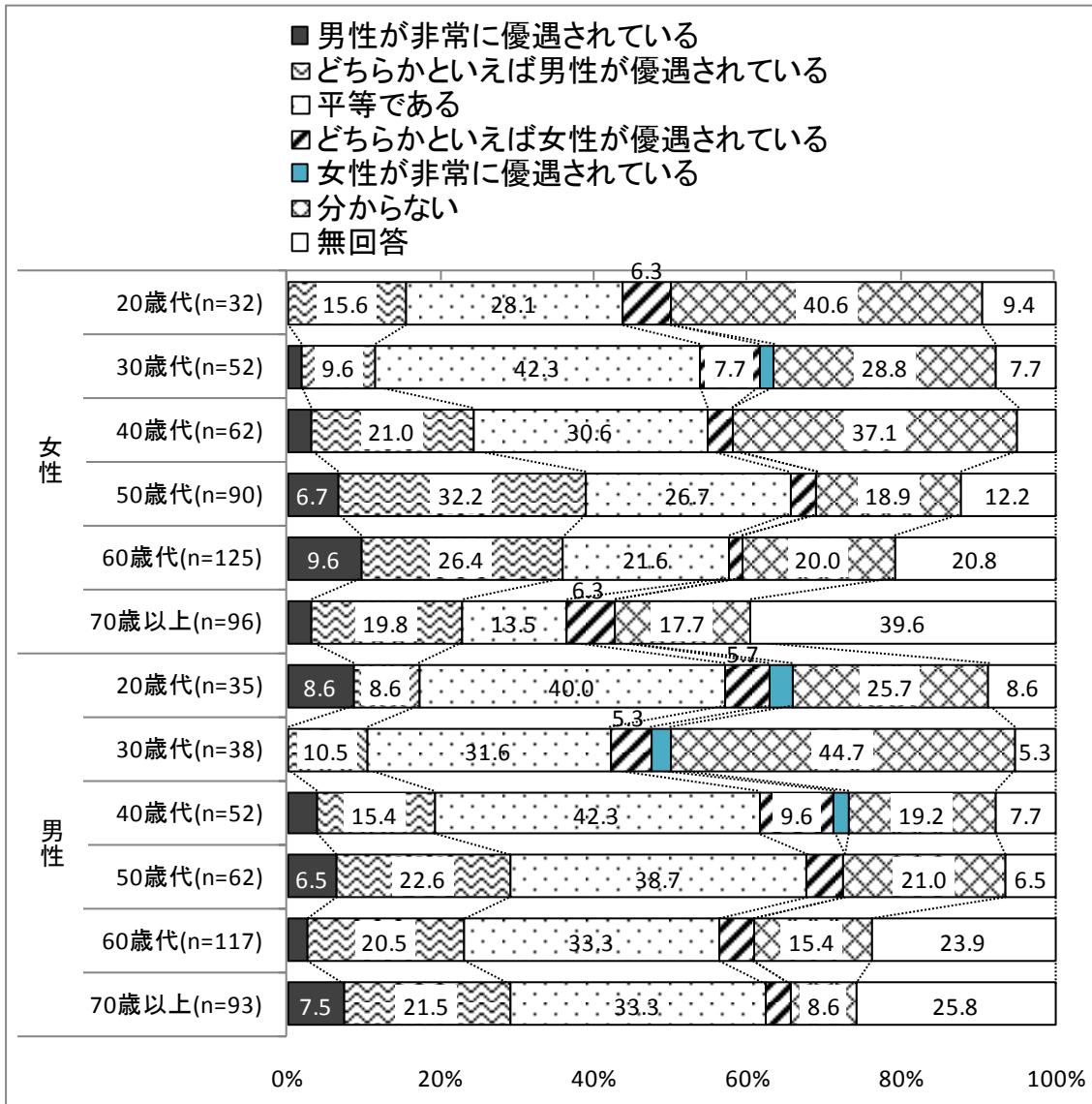
地域活動における平等感について聞いたところ、全体では、「平等である」の割合が29.9%と最も高く、「男性の方が優遇」の25.7%を上回っている。「女性の方が優遇」が5.2%となっている。

性別で見ると、「平等である」の割合は、男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「平等である」の割合が20～40歳代で最も高くなっている。50歳以上では「男性の方が優遇」が「平等である」を上回っている。

地域活動（性×年代別）

単位（％）



性×年代別で見ると、女性では、「平等である」の割合が30歳代で、「男性の方が優遇」が50歳代で最も高くなっている。

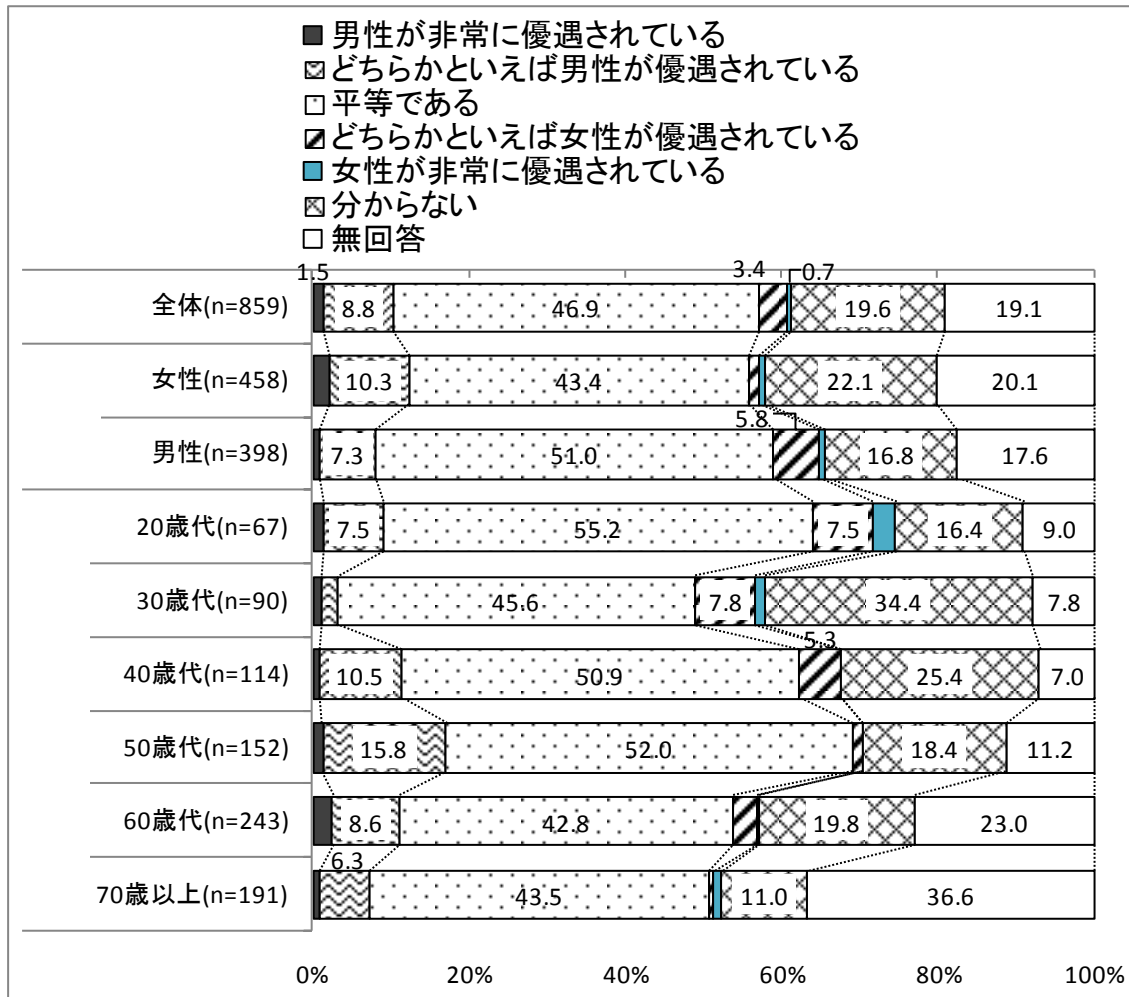
男性では、「平等である」の割合が全ての年代で高くなっている。

④ 学校教育で

⇒ 「平等」が約47%、「男性の方が優遇」が約10%

学校教育（全体・性別・年代別）

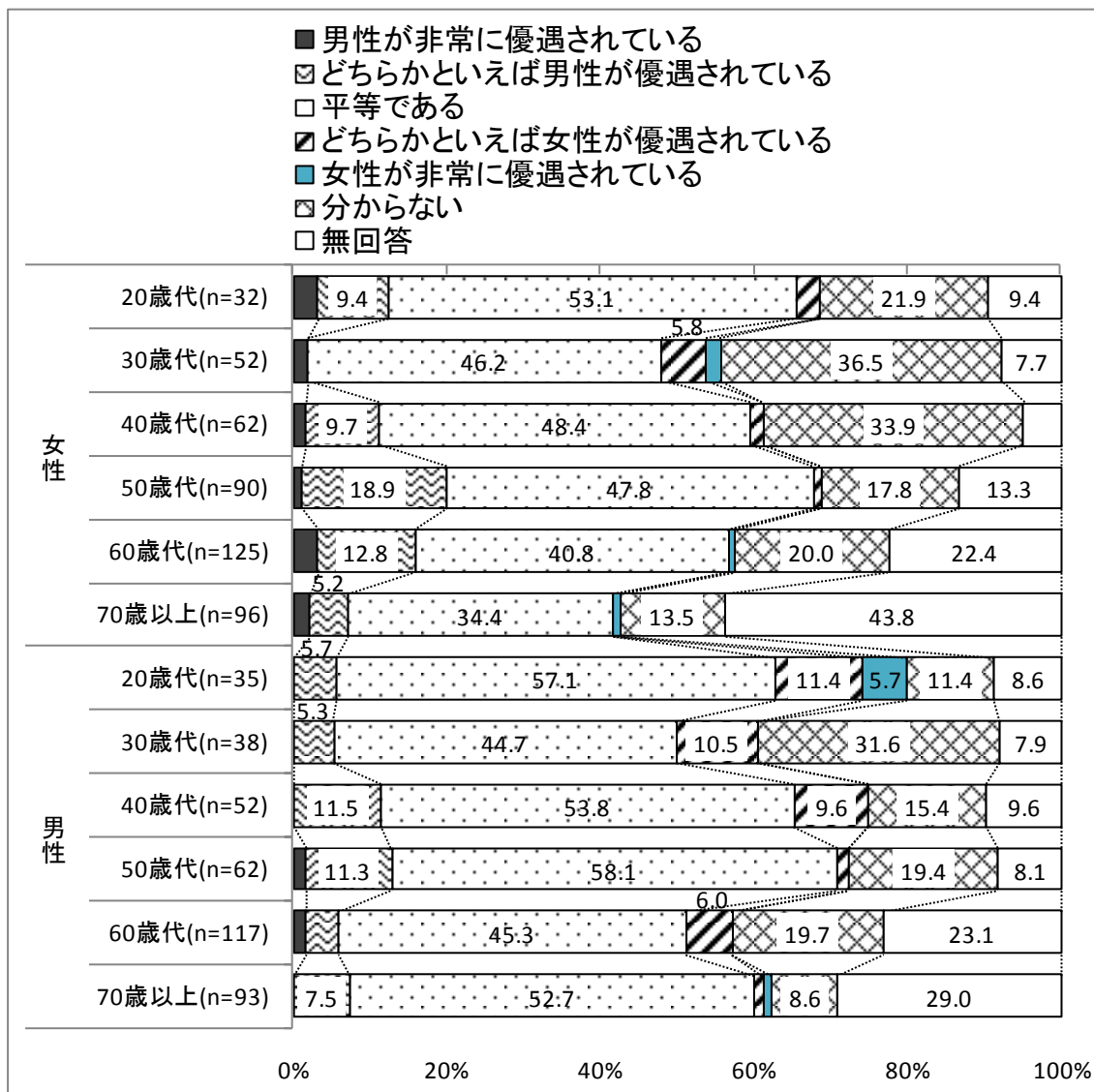
単位（%）



学校教育における平等感について聞いたところ、全体では、「平等である」の割合が46.9%と最も高く、「男性の方が優遇」が10.3%、「女性の方が優遇」が4.1%となっている。性別で見ると、「平等である」の割合は、男性の方が高くなっている。年代別で見ると、「平等である」の割合が全ての年代で高くなっている。

学校教育（性×年代別）

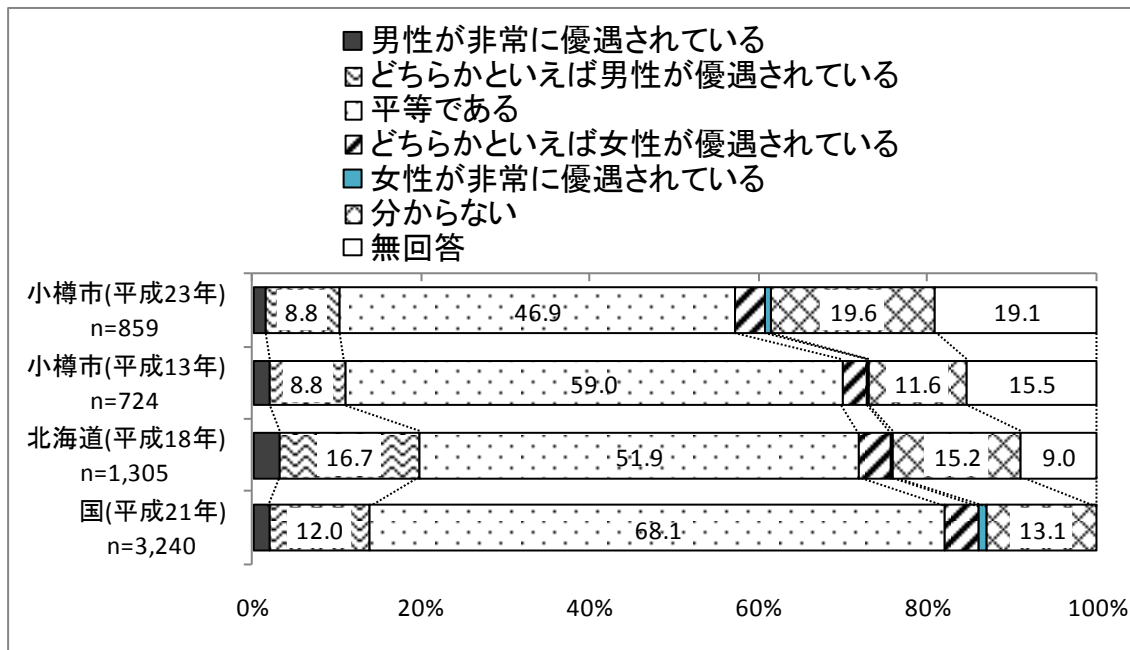
単位（％）



性×年代別で見ると、「平等である」の割合が男女とも全ての年代で高くなっている。

学校教育（前回調査・北海道・国との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、「平等である」の割合が減少し、「分からない」「無回答」が増加している。

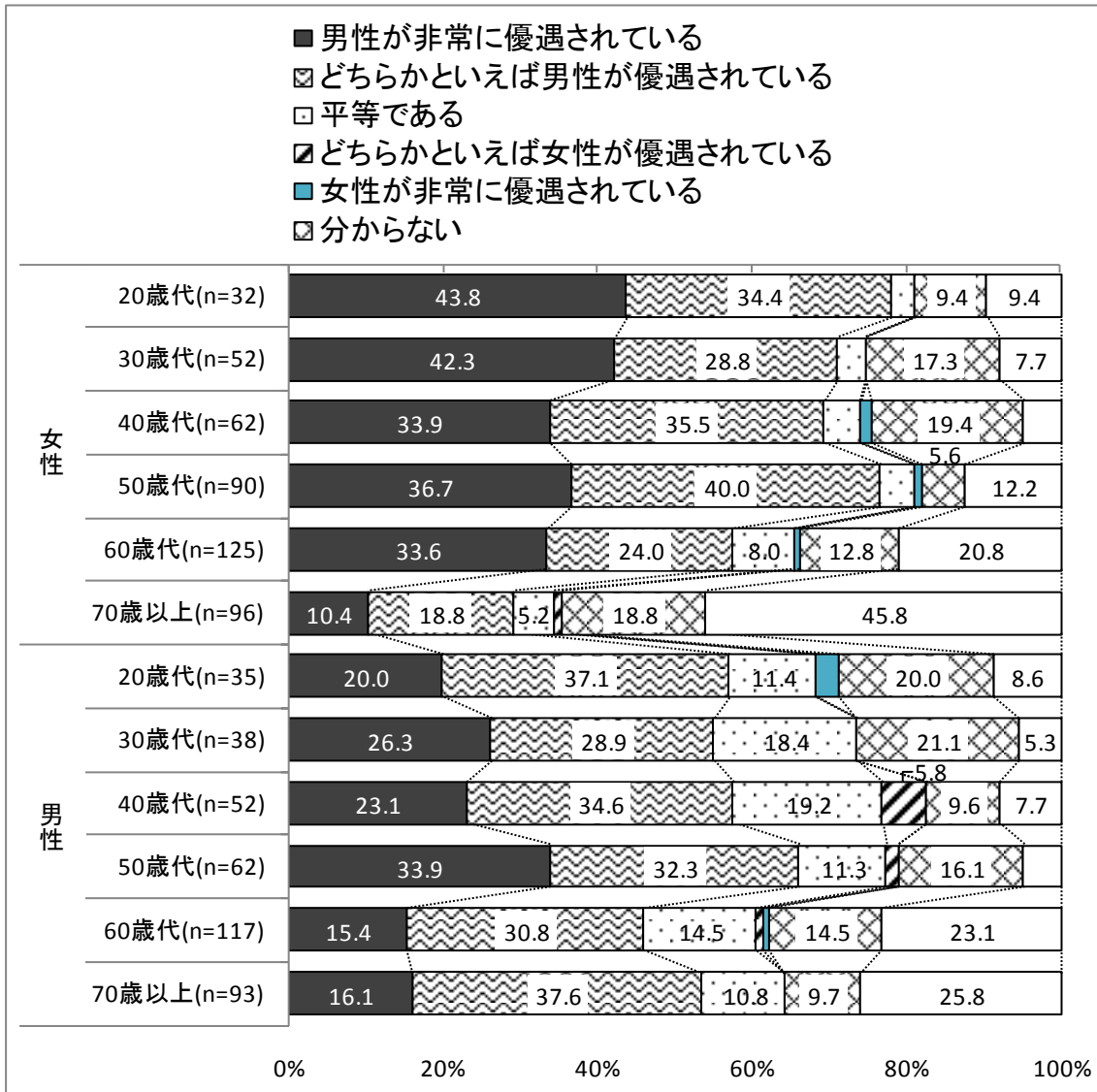
北海道、国と比較すると、「平等である」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

⑤ 政治で

⇒ 「男性の方が優遇」が約57%、「平等」が約9%

政治（全体・性別・年代別）

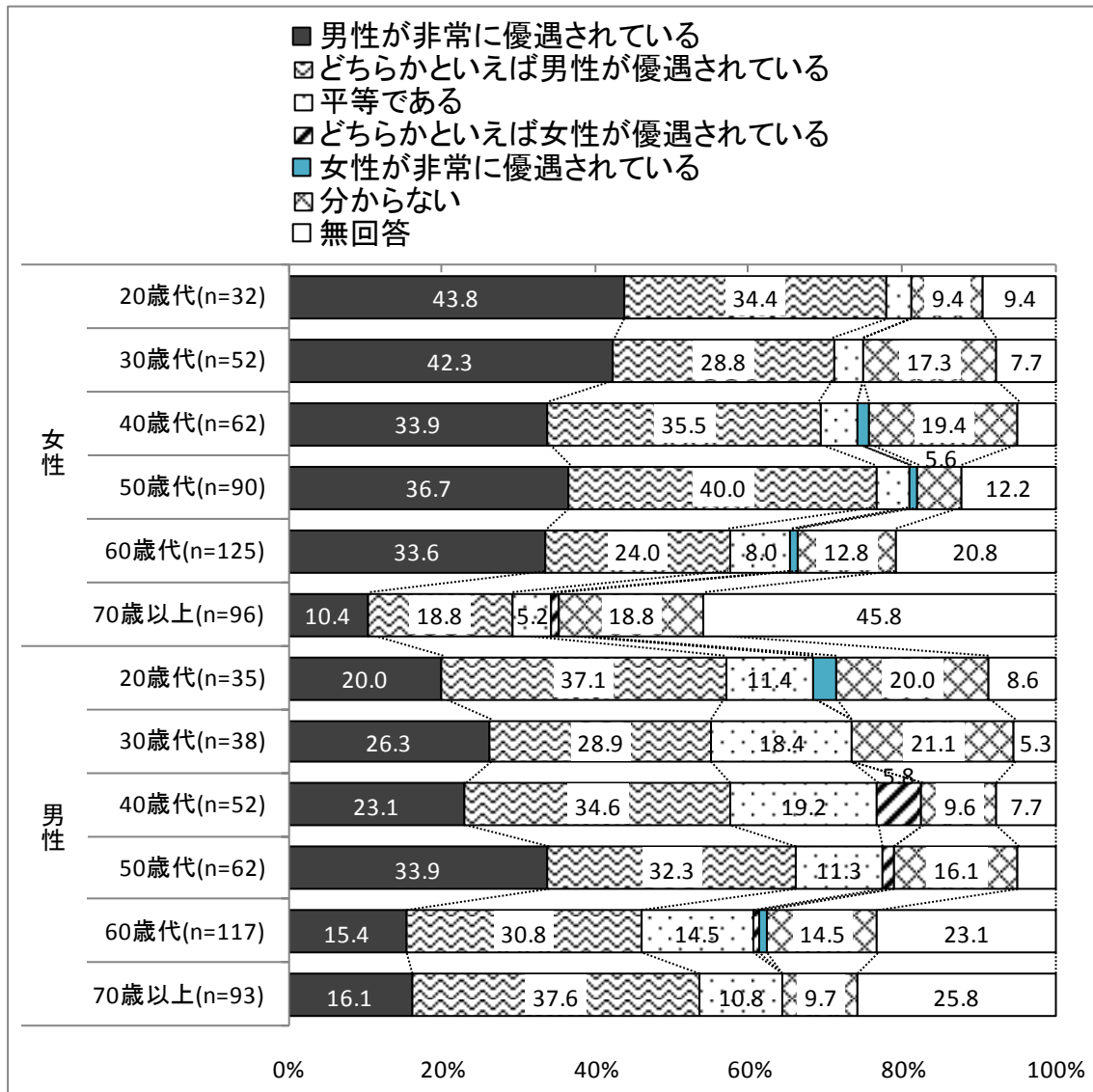
単位（%）



政治における平等感について聞いたところ、全体では、「男性の方が優遇」の割合が57.4%と最も高く、「平等である」が9.3%、「女性の方が優遇」が1.3%となっている。

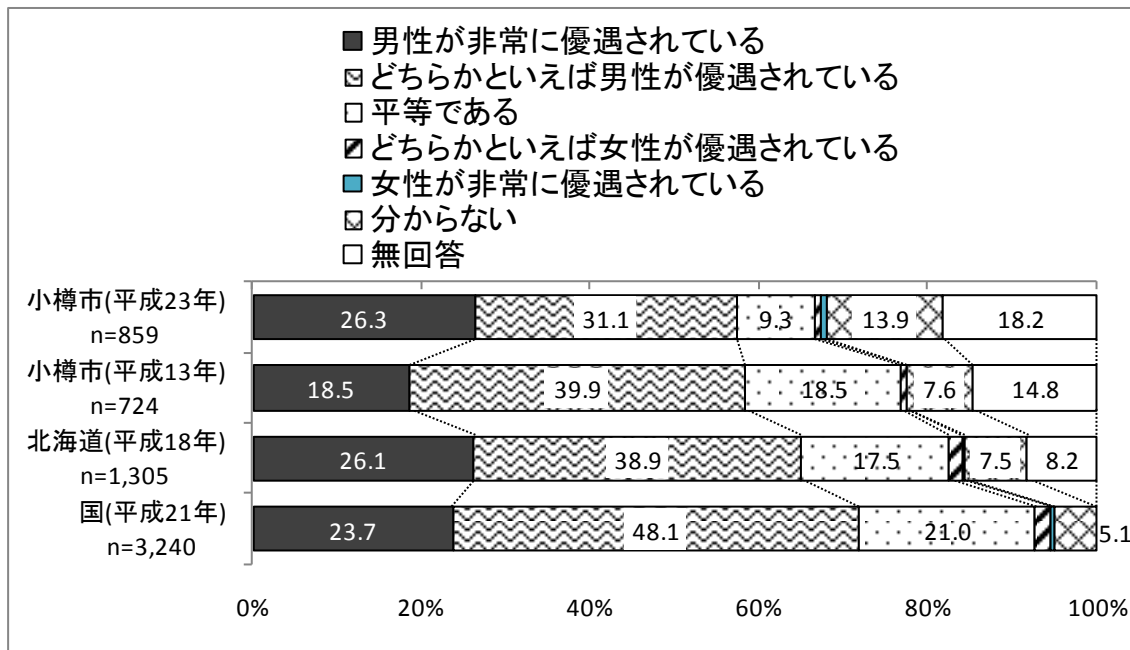
性別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は、女性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で高くなっている。



性×年代別で見ると、女性では、「男性の方が優遇」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で50～70%台となっている。

男性では、「男性の方が優遇」の割合が、全ての年代で40～60%台となっている。



前回調査と比較すると、「平等である」の割合が減少し、「分からない」「無回答」が増加している。

北海道、国と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は、小樽市の方が低くなっている。その一方で、「平等である」も小樽市の方が低くなっている。

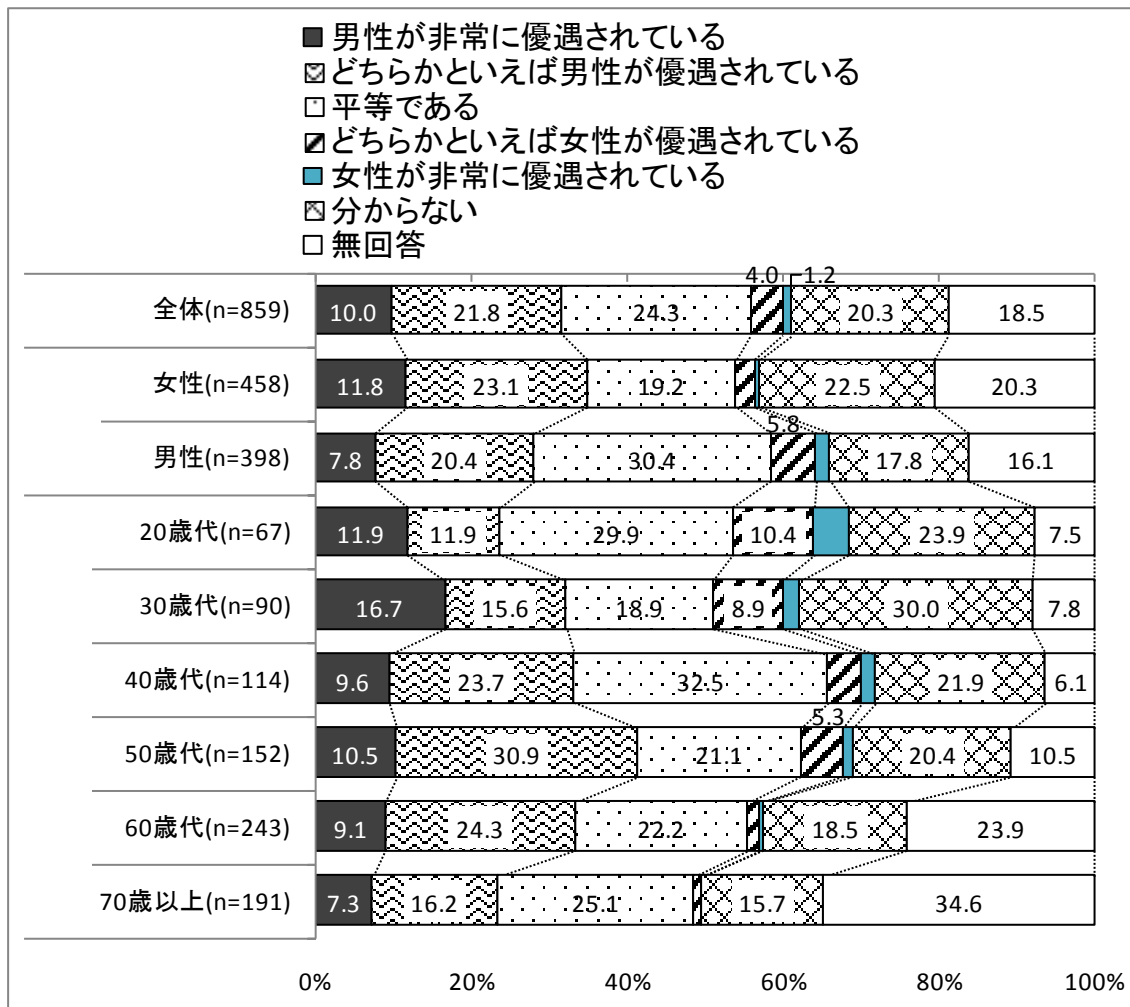


⑥ 法律や制度上で

⇒ 「男性の方が優遇」が約32%、「平等」が約24%

法律や制度上（全体・性別・年代別）

単位（%）



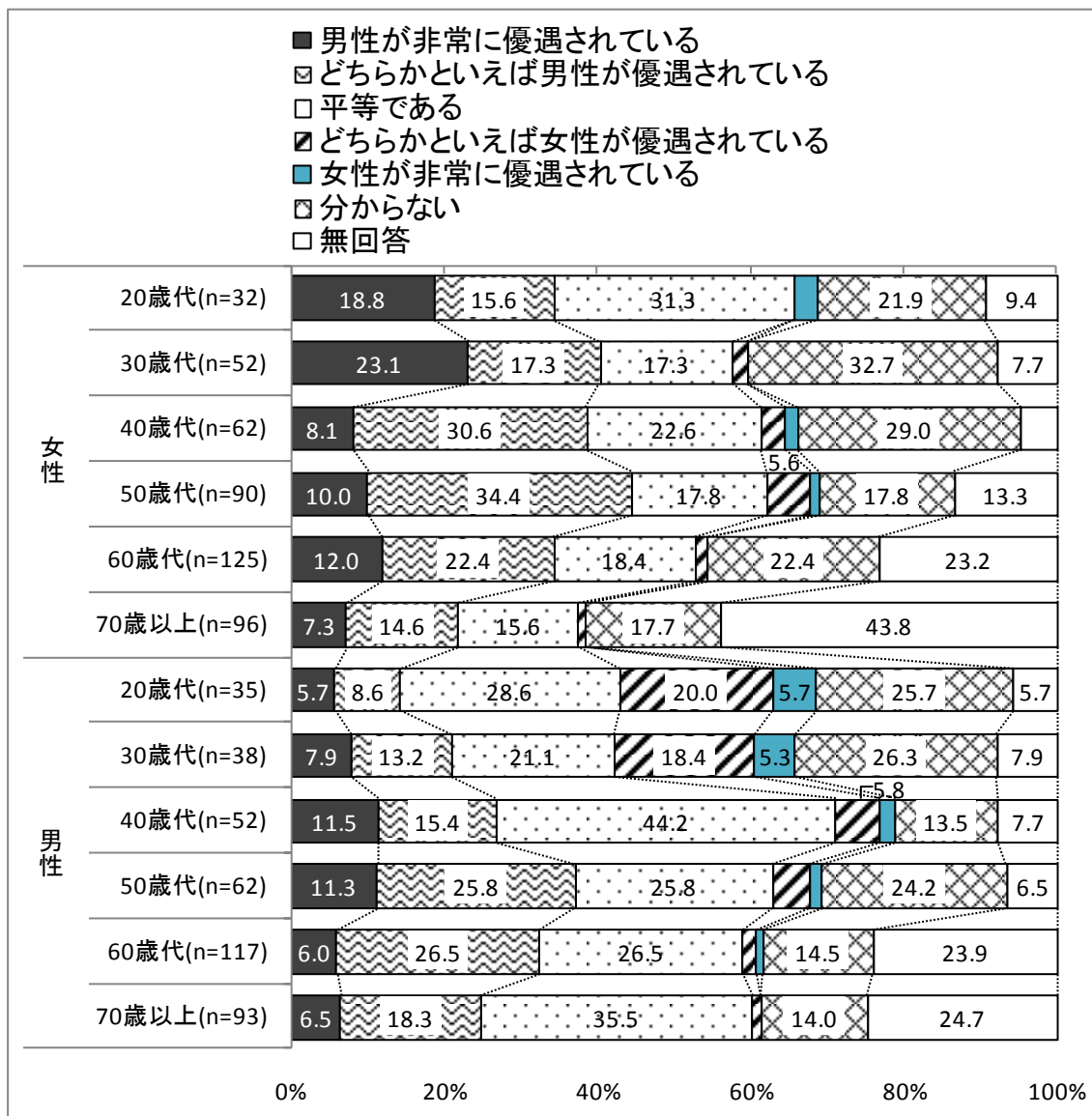
法律や制度上における平等感について聞いたところ、全体では、「男性の方が優遇」の割合が31.8%、「平等である」が24.3%、「女性の方が優遇」が5.2%となっている。

性別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は女性の方が高く、「平等である」は男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇」の割合が50歳代で41.4%と最も高くなっている。

法律や制度上（性×年代別）

単位（％）

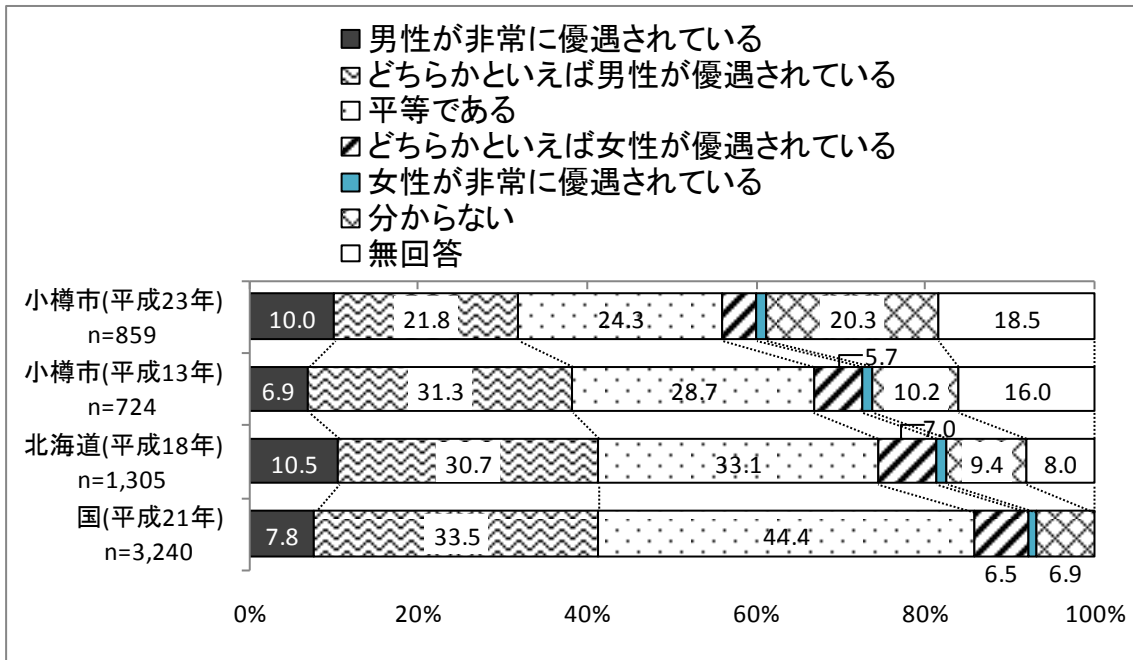


性×年代別で見ると、女性では、「男性の方が優遇」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で30～40%台となっている。

男性では、「平等である」の割合が全ての年代で高く、特に40歳代で44.2%となっている。

法律や制度上（前回調査・北海道・国との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、「男性の方が優遇」「平等である」の割合が減少し、「分からない」「無回答」が増加している。

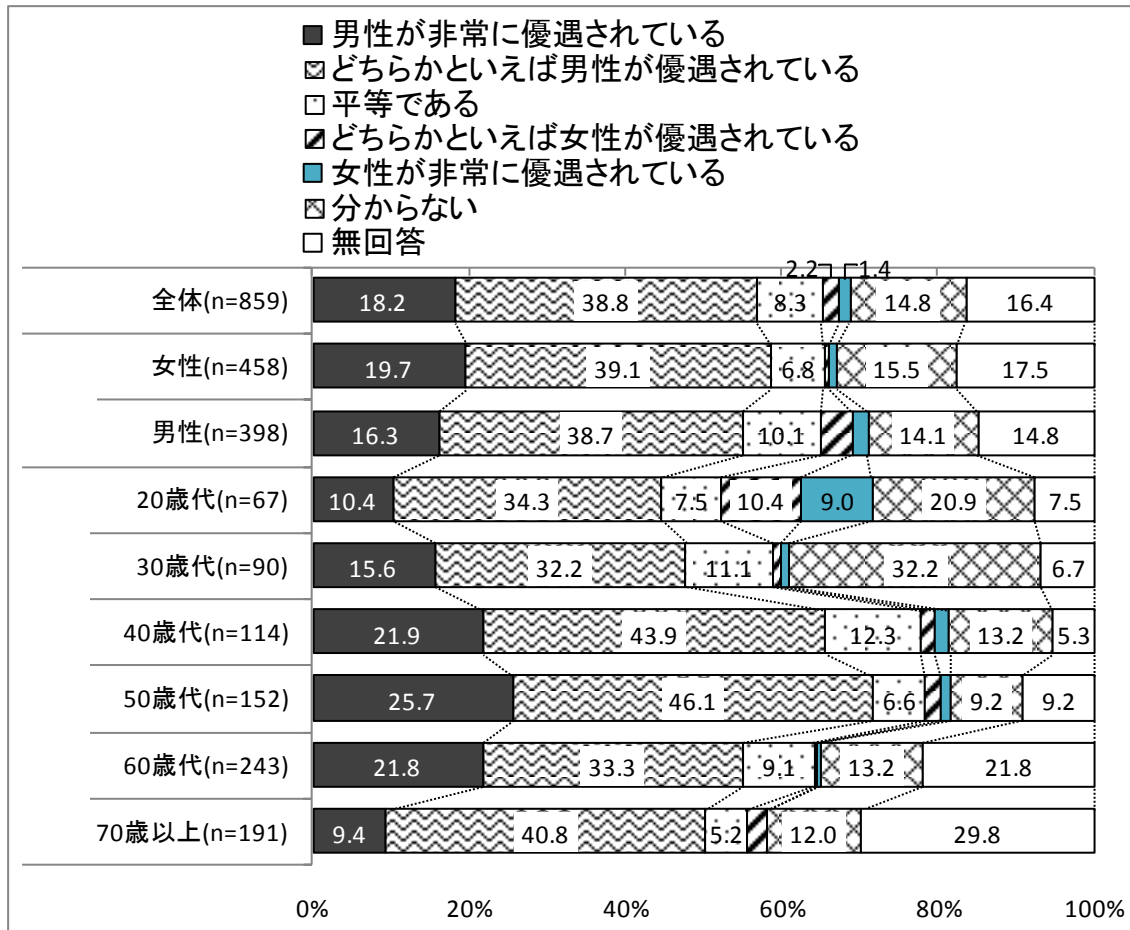
北海道、国と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は、小樽市の方が低くなっている。その一方で、「平等である」も小樽市の方が低くなっている。

⑦ 社会通念や慣習で

⇒ 「男性の方が優遇」が57%、「平等」が約8%

社会通念や慣習（全体・性別・年代別）

単位（%）



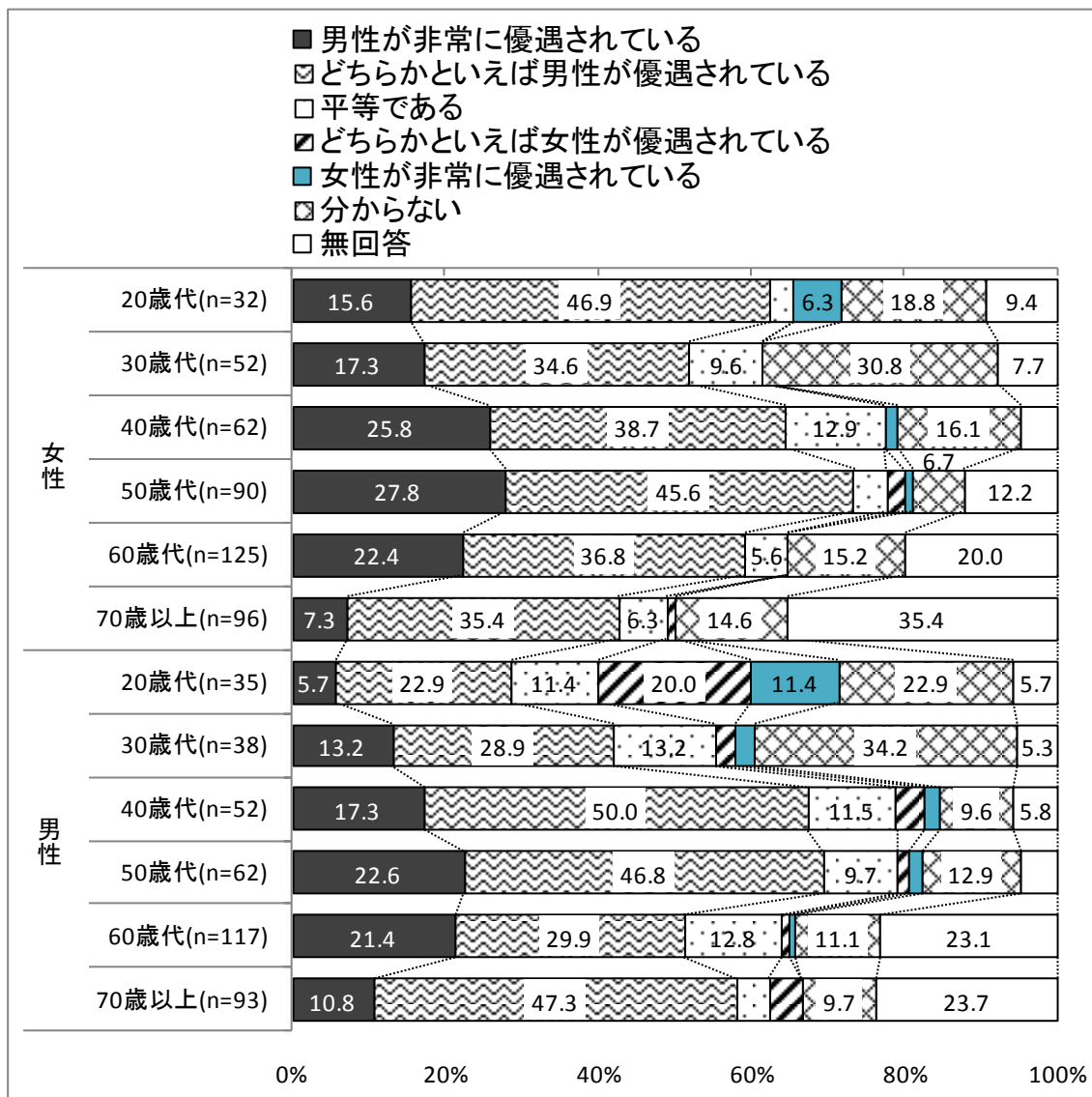
社会通念や慣習における平等感について聞いたところ、全体では、「男性の方が優遇」の割合が57.0%と最も高く、「平等である」が8.3%、「女性の方が優遇」が3.6%となっている。

性別で見ると、「男性の方が優遇」の割合は女性の方が高く、「平等である」は男性の方が高くなっている。

年代別で見ると、「男性の方が優遇」の割合が40歳代で65.8%、50歳代で71.8%と最も高くなっている。「女性の方が優遇」が他の年代に比べ20歳代では19.4%と高くなっている。

社会通念や慣習（性×年代別）

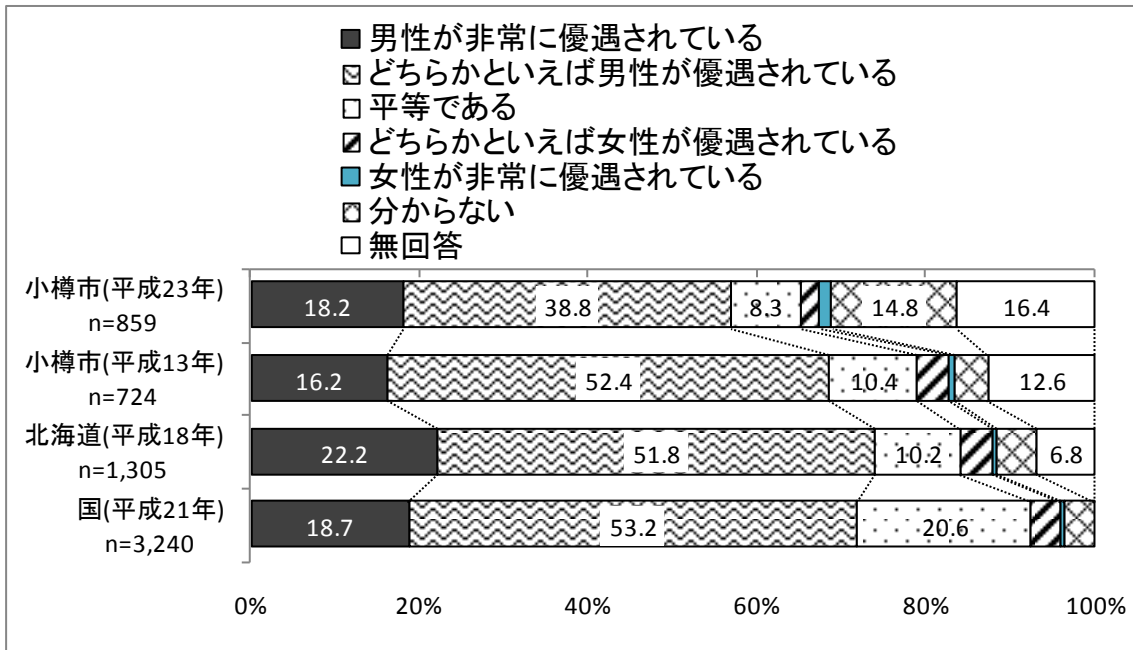
単位（％）



性×年代別で見ると、女性では、「男性の方が優遇」の割合が50歳代で最も高くなっている。男性では、「男性の方が優遇」の割合が40～50歳代で約70%となっている。「女性の方が優遇」の割合は、全ての年代の中で男性の20歳代が31.4%と最も高くなっている。

社会通念や慣習（前回調査・北海道・国との比較）

単位（％）



前回調査と比較すると、「男性の方が優遇」の割合が減少し、「分からない」「無回答」が増加している。

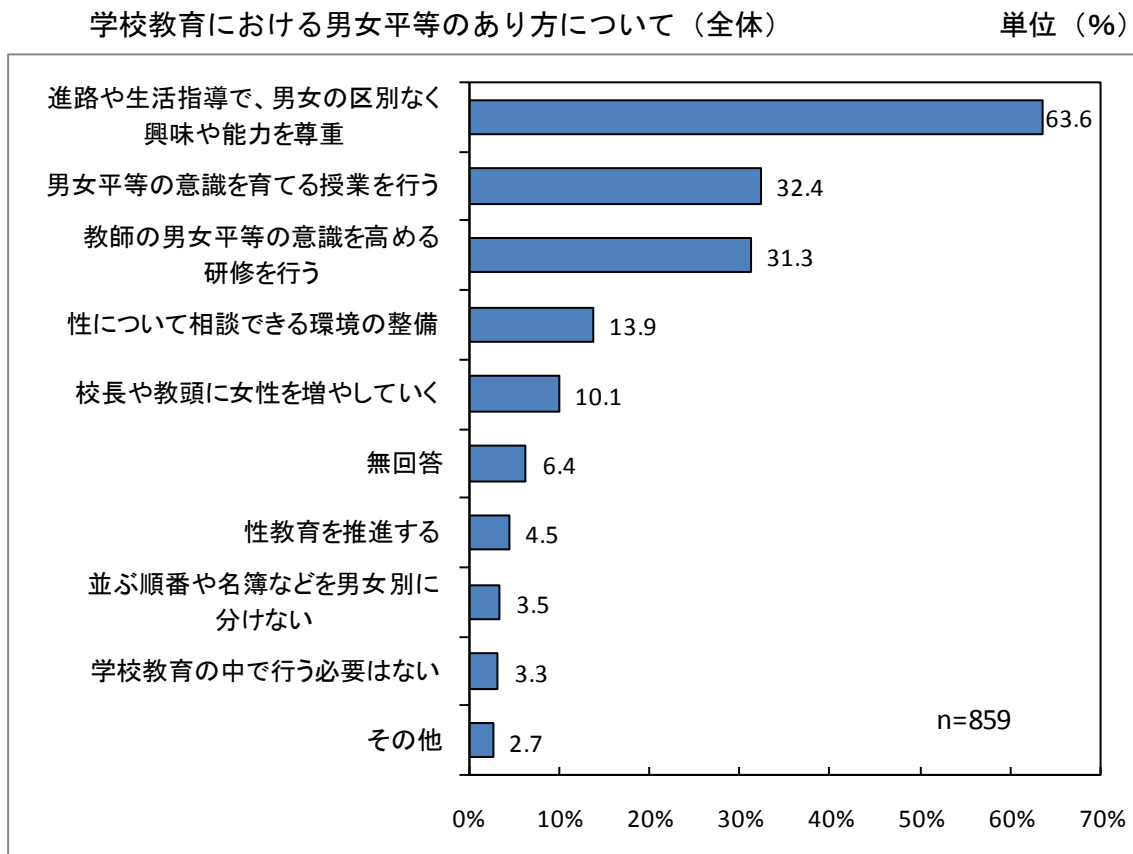
北海道と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は、小樽市の方が低くなっている。

国と比較すると、「男性の方が優遇」の割合は小樽市の方が低くなっている。その一方で「平等である」も小樽市の方が低くなっている。

問21 学校教育における男女平等のあり方について（複数回答）

あなたは、男女の望ましい協力関係をつくっていくために、学校教育の場でどのようなことに力を入れた方がよいと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

⇒「進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重」が60%を超えている。



（複数回答）

学校教育における男女平等のあり方について聞いたところ、「進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重」の割合が63.6%と最も高く、次いで「男女平等の意識を育てる授業を行う」が32.4%、「教師の男女平等の意識を高める研修を行う」が31.3%と続いている。「学校教育の中で行う必要はない」が3.3%となっている。

学校教育における男女平等のあり方について（全体・性別・年代別） 単位（％）

	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 63.6	男女平等の意識を育てる授業を行う 32.4	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 31.3	性について相談できる環境の整備 13.9	校長や教頭に女性を増やしていく 10.1	
女性	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 67.0	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 31.4	男女平等の意識を育てる授業を行う 30.3	性について相談できる環境の整備 13.8	校長や教頭に女性を増やしていく 10.9	
男性	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 59.3	男女平等の意識を育てる授業を行う 34.7	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 31.4	性について相談できる環境の整備 13.8	校長や教頭に女性を増やしていく 9.0	
年代別	20歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 49.3	男女平等の意識を育てる授業を行う 31.3	性について相談できる環境の整備 20.9	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 19.4	校長や教頭に女性を増やしていく 16.4
	30歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 51.1	男女平等の意識を育てる授業を行う 31.1	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 23.3	校長や教頭に女性を増やしていく 14.4	性について相談できる環境の整備 11.1
	40歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 66.7	男女平等の意識を育てる授業を行う 26.3	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 22.8	性について相談できる環境の整備 14.0	校長や教頭に女性を増やしていく 10.5
	50歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 67.1	男女平等の意識を育てる授業を行う 各37.5	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 各37.5	性について相談できる環境の整備 11.8	校長や教頭に女性を増やしていく 6.6
	60歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 67.5	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 37.9	男女平等の意識を育てる授業を行う 37.0	性について相談できる環境の整備 11.5	校長や教頭に女性を増やしていく 8.6
	70歳以上	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重 64.4	教師の男女平等の意識を高める研修を行う 31.4	男女平等の意識を育てる授業を行う 27.2	性について相談できる環境の整備 17.3	無回答 14.7

（複数回答）

性別で見ると、男女とも「進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重」を最も望んでいる。

年代別で見ると、全ての年代で「進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重」を最も望んでいる。



学校教育における男女平等のあり方について（性×年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく	教師の男女平等の意識を高める研修を行う
		59.4	34.4	25.0	18.8	9.4
	30歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	校長や教頭に女性を増やしていく	学校教育の中で行う必要はない
		46.2	34.6	23.1	17.3	13.5
	40歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	校長や教頭に女性を増やしていく	性について相談できる環境の整備
		75.8	27.4	22.6	12.9	11.3
	50歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	男女平等の意識を育てる授業を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく
		68.9	41.1	31.1	15.6	6.7
	60歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	男女平等の意識を育てる授業を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく
		74.4	39.2	30.4	9.6	8.0
	70歳以上	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	男女平等の意識を育てる授業を行う	性について相談できる環境の整備	無回答
		63.5	30.2	28.1	18.8	15.6
男性	20歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく
		40.0	各28.6		17.1	14.3
	30歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく
		57.9	26.3	23.7	15.8	10.5
	40歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	性について相談できる環境の整備	性教育を推進する
		55.8	25.0	23.1	17.3	9.6
	50歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	・校長や教頭に女性を増やしていく ・性教育を推進する ・性について相談できる環境の整備	
		64.5	46.8	32.3	各6.5	
	60歳代	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	男女平等の意識を育てる授業を行う	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	性について相談できる環境の整備	校長や教頭に女性を増やしていく
		59.8	43.6	36.8	13.7	9.4
	70歳以上	進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重	教師の男女平等の意識を高める研修を行う	男女平等の意識を育てる授業を行う	性について相談できる環境の整備	無回答
		64.5	33.3	26.9	15.1	14.0

（複数回答）

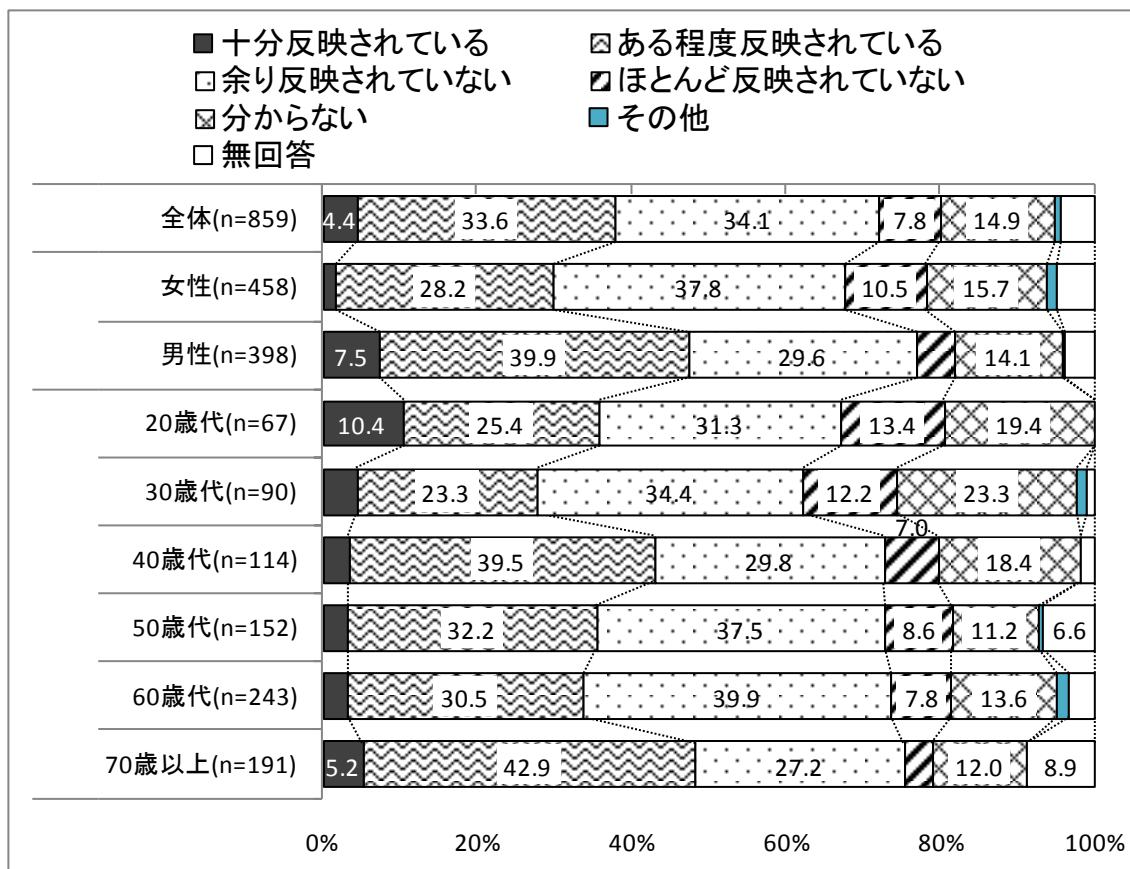
性×年代別で見ると、男女とも全ての年代で「進路や生活指導で、男女の区別なく興味や能力を尊重」を最も望んでいる。

問22 政治や行政での女性意見の反映について

女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。当てはまる番号を1つだけ選んで○をつけてください。

⇒女性は「反映されていない」、男性は「反映されている」と感じている。

政治や行政での女性意見の反映について（全体・性別・年代別） 単位（%）



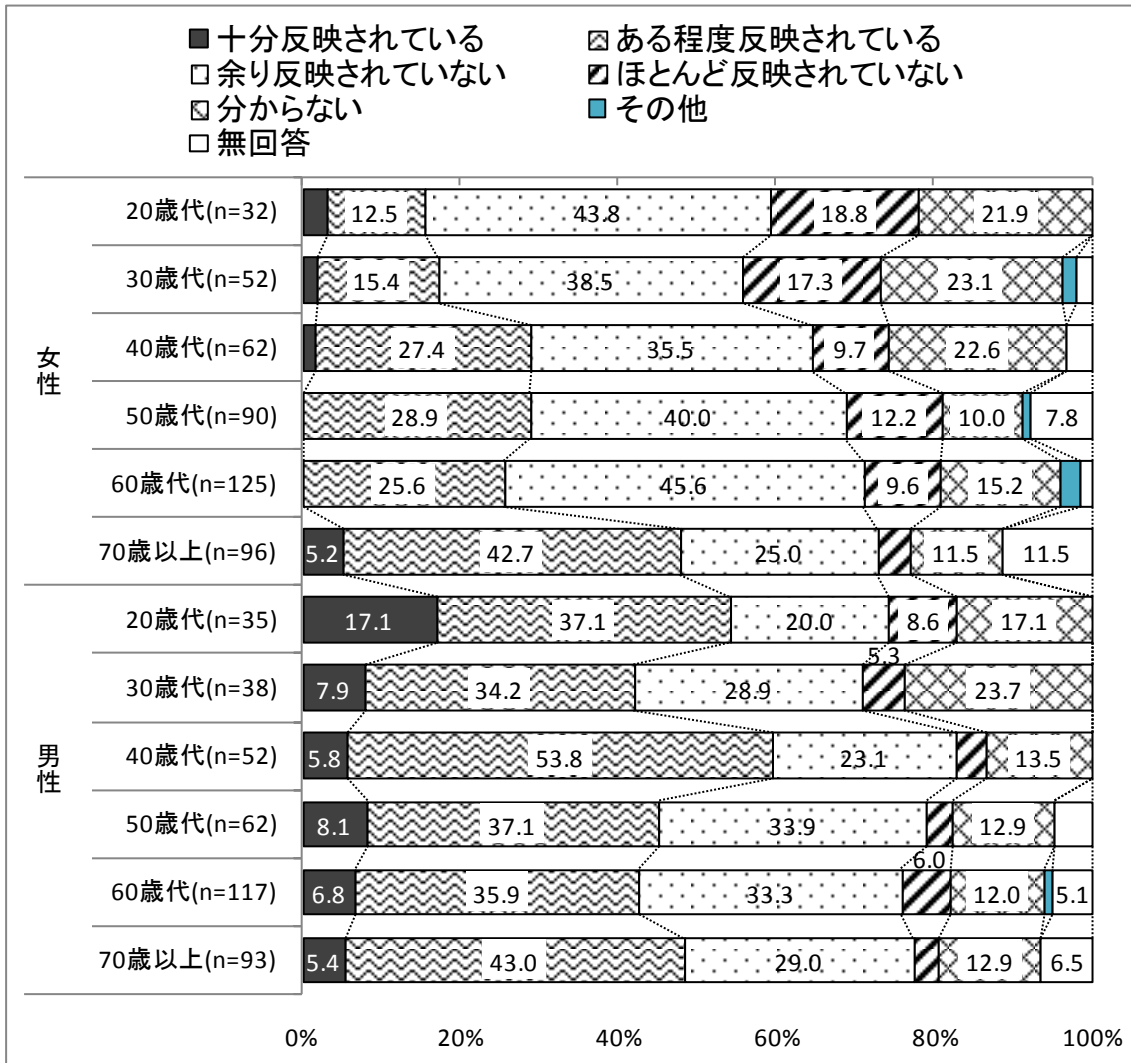
政治や行政での女性意見の反映について聞いたところ、全体では、「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」の割合が41.9%で、「十分反映されている」「ある程度反映されている」の38.0%を上回っている。

性別で見ると、「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」の割合は、女性の方が高く、「十分反映されている」「ある程度反映されている」は、男性の方が高くなっており、男女で感じ方が大きく違っている。

年代別で見ると、40歳代、70歳以上を除く年代で「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」の割合が、「十分反映されている」「ある程度反映されている」を上回っている。

政治や行政での女性意見の反映について（性×年代別）

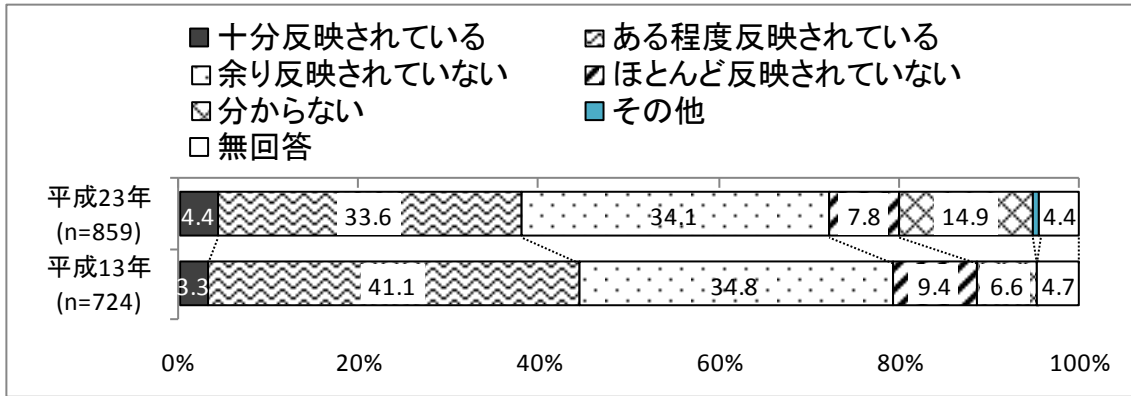
単位（％）



性×年代別で見ると、女性では、「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で高くなっている。

男性では、「十分反映されている」「ある程度反映されている」の割合が、全ての年代で「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」を上回っている。

政治や行政での女性意見の反映について（前回調査との比較） 単位（％）



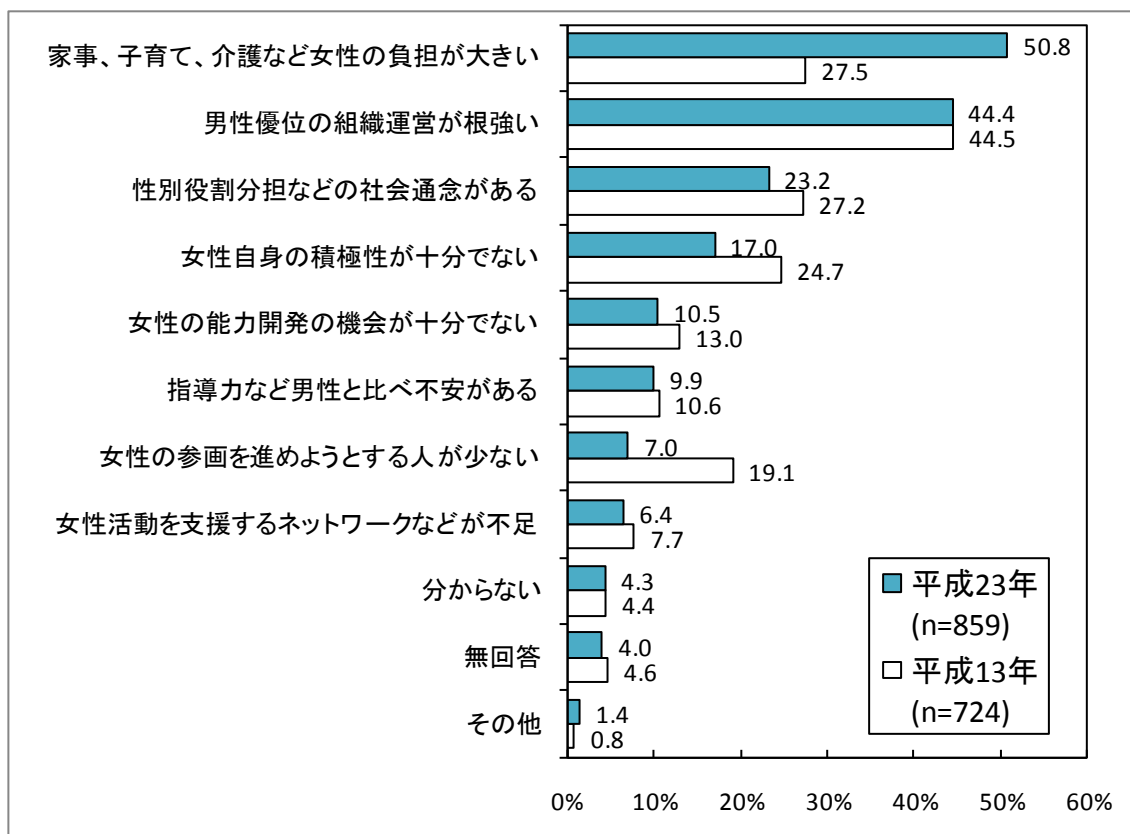
前回調査と比較すると、今回は「十分に反映されている」「ある程度反映されている」と「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」は、ほぼ同じ割合であったが、今回は「余り反映されていない」「ほとんど反映されていない」の方が3.9ポイント上回っている。

問23 政策等決定の場で女性が少ない理由について（複数回答）

女性の社会進出は進んできていますが、政策、方針の決定や地域の指導的な立場に就く女性はまだ少ない状況です。それはどの理由からだと思いませんか。あなたの考えに近い番号を2つまで選んで○をつけてください。

⇒ 「家事などで女性の負担が大きい」、「男性優位の組織運営が根強い」が上位を占めた。

政策等決定の場で女性が少ない理由について（前回調査との比較） 単位（％）



（複数回答）

政策等決定の場で女性が少ない理由について聞いたところ、「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」の割合が50.8%と最も高く、次いで「男性優位の組織運営が根強い」が44.4%、「性別役割分担などの社会通念がある」が23.2%と続いている。

前回調査と比較すると、「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」の割合が増加し、「女性自身の積極性が十分でない」「性別役割分担などの社会通念がある」「女性の参画を進めようとする人が少ない」などが減少している。

政策等決定の場で女性が少ない理由について（全体・性別・年代別） 単位（％）

	1位	2位	3位	4位	5位	
全体	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性の能力開発の機会が十分でない	
	50.8	44.4	23.2	17.0	10.5	
女性	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性の能力開発の機会が十分でない	
	55.9	43.7	20.3	19.9	10.3	
男性	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	指導力など男性と比べ不安がある	
	45.2	45.0	26.6	13.8	11.8	
年代別	20歳代	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	女性の能力開発の機会が十分でない	女性自身の積極性が十分でない
		49.3	41.8	25.4	13.4	10.4
	30歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	・指導力など男性と比べ不安がある ・女性の参画を進めようとする人が少ない ・分からない
		51.1	48.9	26.7	15.6	各7.8
	40歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性の能力開発の機会が十分でない
		50.0	49.1	24.6	19.3	12.3
	50歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性の能力開発の機会が十分でない
		55.3	46.1	23.7	20.4	10.5
	60歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	指導力など男性と比べ不安がある
		51.9	41.6	19.8	17.3	15.2
	70歳以上	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性活動を支援するネットワークなどが不足
		49.2	39.8	24.1	15.7	11.0

（複数回答）

性別で見ると、女性では「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」の割合が最も高くなっている。男性では「男性優位の組織運営が根強い」「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」は、ほぼ同じとなっている。

年代別で見ると、20歳代では「男性優位の組織運営が根強い」、30歳以上では「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」の割合が最も高くなっている。

政策等決定の場で女性が少ない理由について（性×年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性活動を支援するネットワークなどが不足
		56.3	43.8	25.0	15.6	9.4
	30歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性の参画を進めようとする人が少ない
		59.6	51.9	25.0	19.2	9.6
	40歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	女性自身の積極性が十分でない	性別役割分担などの社会通念がある	女性の能力開発の機会が十分でない
		58.1	50.0	21.0	17.7	12.9
	50歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	女性自身の積極性が十分でない	性別役割分担などの社会通念がある	女性の能力開発の機会が十分でない
	61.1	50.0	22.2	21.1	11.1	
60歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	女性自身の積極性が十分でない	性別役割分担などの社会通念がある	女性の能力開発の機会が十分でない	
	59.2	40.8	20.8	16.8	12.0	
70歳以上	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	無回答	
	46.9	29.2	21.9	17.7	13.5	
男性	20歳代	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	女性の能力開発の機会が十分でない	女性の参画を進めようとする人が少ない
		42.9	40.0	25.7	20.0	11.4
	30歳代	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	分からない	・女性自身の積極性が十分でない ・女性の能力開発の機会が十分でない ・指導力など男性と比べ不安がある
		44.7	39.5	28.9	15.8	各10.5
	40歳代	男性優位の組織運営が根強い	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	指導力など男性と比べ不安がある
		48.1	40.4	32.7	17.3	13.5
	50歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性活動を支援するネットワークなどが不足
	46.8	40.3	27.4	17.7	11.3	
60歳代	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	指導力など男性と比べ不安がある	女性自身の積極性が十分でない	
	43.6	42.7	23.1	19.7	13.7	
70歳以上	家事、子育て、介護など女性の負担が大きい	男性優位の組織運営が根強い	性別役割分担などの社会通念がある	女性自身の積極性が十分でない	女性活動を支援するネットワークなどが不足	
	52.7	50.5	26.9	14.0	8.6	

（複数回答）

性×年代別で見ると、女性では、「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」の割合が、30歳以上で最も高くなっている。

男性では、「男性優位の組織運営が根強い」の割合が20歳代～40歳代で、「家事、子育て、介護など女性の負担が大きい」が50歳以上で最も高くなっている。

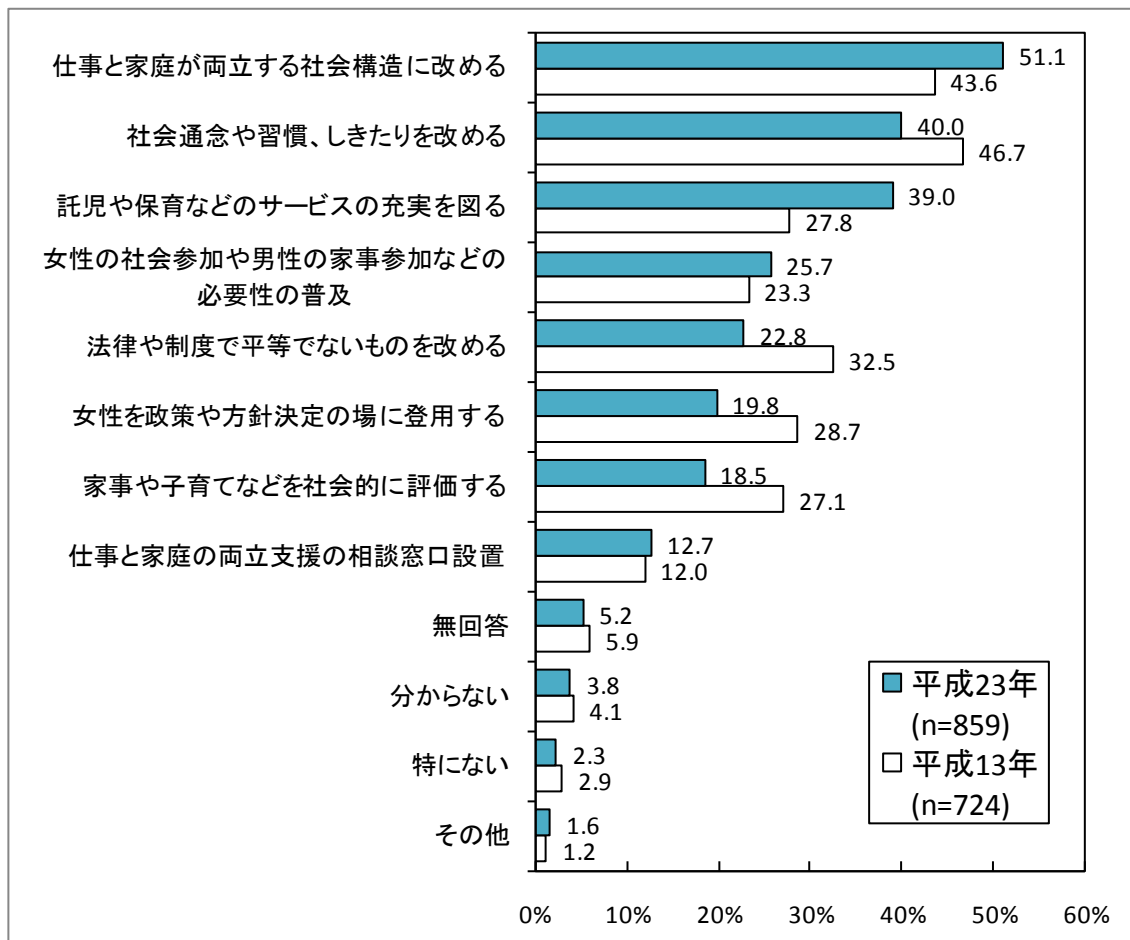
問24 男女平等参画社会の実現のため社会をどう変えるか（複数回答）

男性と女性が、家庭、職場、地域社会、政治の場などあらゆる分野に、ともに参画する社会を実現するためには、社会全体をどのように変える必要があると思いますか。当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

⇒「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合が51.1%と最も高い。

男女平等参画社会の実現のため社会をどう変えるか（前回調査との比較）

単位（%）



（複数回答）

男女平等参画社会の実現のため社会をどう変えるかについて聞いたところ、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合が51.1%と最も高く、次いで「社会通念や習慣、しきたりを改める」が40.0%、「託児や保育などのサービスの充実を図る」が39.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」「託児や保育などのサービスの充実を図る」の割合が増加し、「法律や制度で平等でないものを改める」「社会通念や習慣、しきたりを改める」が減少している。



男女平等参画社会の実現のため社会をどう変えるか（全体・性別・年代別）

単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位	
全体	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	法律や制度で平等でな いものを改める		
		51.1	40.0	39.0	25.7	22.8	
女性	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	法律や制度で平等でな いものを改める		
		54.1	43.2	38.6	28.4	21.2	
男性	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	法律や制度で平等でな いものを改める	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及		
		47.7	41.7	34.2	24.6	22.6	
年代別	20歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	家事や子育てなどを社 会的に評価する	
			49.3	43.3	34.3	22.4	17.9
	30歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	社会通念や習慣、しき たりを改める	家事や子育てなどを社 会的に評価する
			57.8	40.0	30.0	28.9	22.2
	40歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	社会通念や習慣、しき たりを改める	家事や子育てなどを社 会的に評価する	法律や制度で平等でな いものを改める
			56.1	45.6	28.9	27.2	23.7
	50歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	社会通念や習慣、しき たりを改める	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	・ 法律や制度で平等で ないものを改める ・ 女性を政策や方針決 定の場に登用する 各21.1
			59.2	48.7	48.0	27.6	
	60歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	社会通念や習慣、しき たりを改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	法律や制度で平等でな いものを改める	
			51.4	41.2	36.6	26.3	23.9
	70歳以上	社会通念や習慣、しき たりを改める	仕事と家庭が両立する社会構造に改める	託児や保育などのサー ビスの充実を図る	法律や制度で平等でな いものを改める	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及	
			42.4	38.2	31.4	27.7	25.1

（複数回答）

性別で見ると、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合は、男女ともに最も高くなっている。

年代別で見ると、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で最も高くなっている。

男女平等参画社会の実現のため社会をどう変えるか（性×年代別）単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
女性	20歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 43.8	社会通念や習慣、しき たりを改める 40.6	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 34.4	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 28.1	・法律や制度で平等で ないものを改める ・女性を政策や方針決 定の場に登用する 各21.9
	30歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 67.3	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 50.0	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 28.8	社会通念や習慣、しき たりを改める 各26.9	家事や子育てなどを社 会的に評価する
	40歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 56.5	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 53.2	社会通念や習慣、しき たりを改める 32.3	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 25.8	法律や制度で平等でな いものを改める 24.2
	50歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 67.8	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 55.6	社会通念や習慣、しき たりを改める 46.7	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 32.2	女性を政策や方針決定 の場に登用する 23.3
	60歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 52.8	社会通念や習慣、しき たりを改める 40.0	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 38.4	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 30.4	家事や子育てなどを社 会的に評価する 22.4
	70歳以上	社会通念や習慣、しき たりを改める 38.5	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 37.5	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 30.2	法律や制度で平等でな いものを改める 26.0	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 24.0
	男性	20歳代	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 54.3	社会通念や習慣、しき たりを改める 45.7	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 34.3	家事や子育てなどを社 会的に評価する 25.7
30歳代		仕事と家庭が両立する社会構造に改める 44.7	社会通念や習慣、しき たりを改める 各31.6	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 26.3	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 各21.1	・法律や制度で平等で ないものを改める ・女性を政策や方針決 定の場に登用する
40歳代		仕事と家庭が両立する社会構造に改める 55.8	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 36.5	家事や子育てなどを社 会的に評価する 32.7	社会通念や習慣、しき たりを改める 25.0	法律や制度で平等でな いものを改める 23.1
50歳代		社会通念や習慣、しき たりを改める 50.0	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 46.8	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 38.7	法律や制度で平等でな いものを改める 24.2	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 21.0
60歳代		仕事と家庭が両立する社会構造に改める 49.6	社会通念や習慣、しき たりを改める 42.7	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 34.2	法律や制度で平等でな いものを改める 25.6	女性の社会参加や男性 の家事参加などの 必 要性の普及 22.2
70歳以上		社会通念や習慣、しき たりを改める 46.2	仕事と家庭が両立する社会構造に改める 39.8	託児や保育などのサー ビスの充実を図る 33.3	法律や制度で平等でな いものを改める 30.1	・女性を政策や方針決 定の場に登用する ・女性の社会参加や男 性の家事参加などの 必要性の普及 各25.8

（複数回答）

性×年代別で見ると、女性では、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合が、70歳以上を除く全ての年代で最も高くなっている。

男性では、「仕事と家庭が両立する社会構造に改める」の割合が、50歳代、70歳以上を除く年代で最も高くなっている。

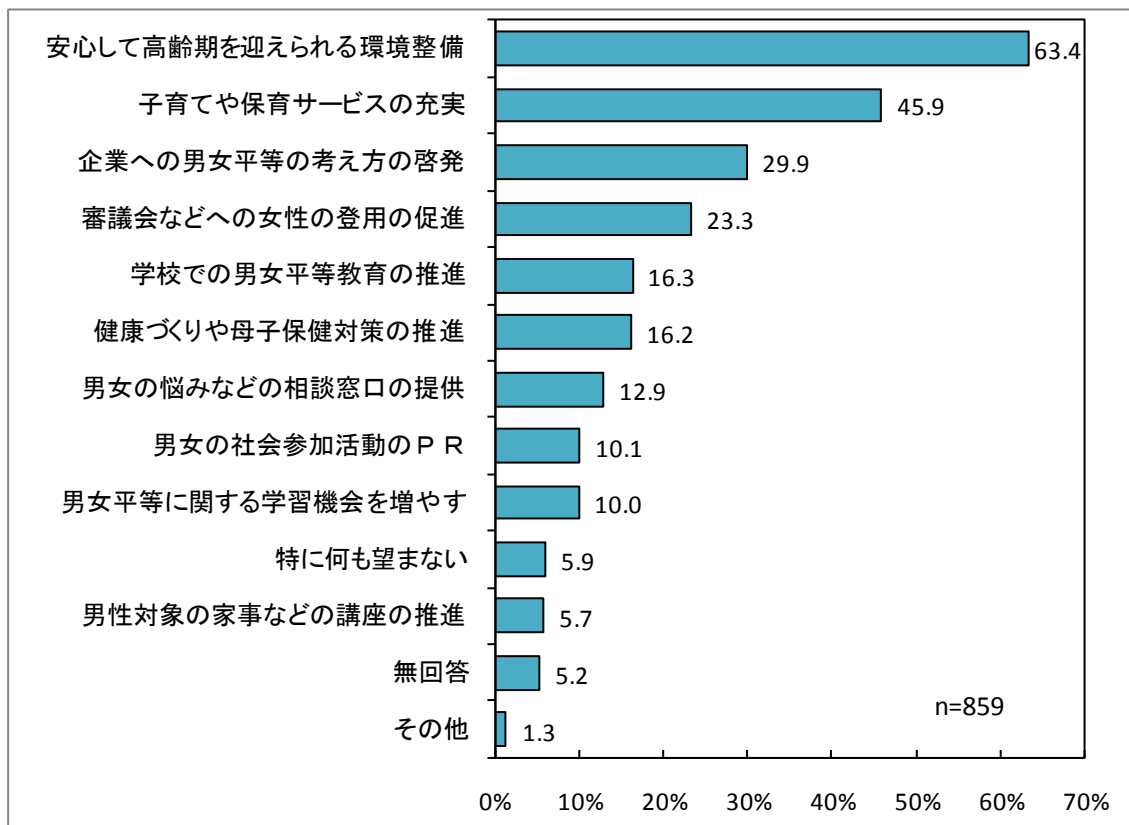
問25 男女平等参画を進めるために市に望むこと（複数回答）

あなたは小樽市が男女平等参画を進めるために、市にどのようなことを望みますか。  
 当てはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

⇒「安心して高齢期を迎えられる環境整備」「子育てや保育サービスの充実」が上位を占めた。

男女平等参画を進めるために市に望むこと（全体）

単位（％）



（複数回答）

男女平等参画を進めるために市に望むことについて聞いたところ、「安心して高齢期を迎えられる環境整備」の割合が63.4%と最も高く、次いで「子育てや保育サービスの充実」が45.9%、「企業への男女平等の考え方の啓発」が29.9%と続いている。

男女平等参画を進めるために市に望むこと（全体・性別・年代別）単位（％）

		1位	2位	3位	4位	5位
全体	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	学校での男女平等教育の推進	
		63.4	45.9	29.9	23.3	16.3
女性	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	健康づくりや母子保健対策の推進	
		69.4	51.3	27.1	23.8	15.3
男性	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	学校での男女平等教育の推進	
		56.3	39.7	33.2	22.6	19.8
年代別	20歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	健康づくりや母子保健対策の推進
		56.7	50.7	23.9	23.9	19.4
	30歳代	子育てや保育サービスの充実	安心して高齢期を迎えられる環境整備	企業への男女平等の考え方の啓発	健康づくりや母子保健対策の推進	特に何も望まない
		58.9	47.8	32.2	18.9	15.6
	40歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	健康づくりや母子保健対策の推進
		64.0	57.0	28.9	16.7	14.9
	50歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	・学校での男女平等教育の推進 ・男女の社会参加活動のPR
	61.8	57.2	34.9	30.3	各13.8	
60歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	企業への男女平等の考え方の啓発	審議会などへの女性の登用の促進	学校での男女平等教育の推進	
	67.5	40.3	31.7	25.5	18.9	
70歳以上	安心して高齢期を迎えられる環境整備	子育てや保育サービスの充実	審議会などへの女性の登用の促進	企業への男女平等の考え方の啓発	学校での男女平等教育の推進	
	68.6	28.8	26.2	25.7	20.4	

（複数回答）

性別で見ると、男女とも「安心して高齢期を迎えられる環境整備」の割合が、最も高くなっている。

年代別で見ると、「安心して高齢期を迎えられる環境整備」の割合が30歳代を除く全ての年代で、「子育てや保育サービスの充実」が、30歳代で最も高くなっている。

男女平等参画を進めるために市に望むこと（性×年代別）

単位（％）

	1位	2位	3位	4位	5位	
女性	20歳代	子育てや保育サービスの充実 65.6	安心して高齢期を迎えられる環境整備 59.4	審議会などへの女性の登用の促進 28.1	企業への男女平等の考え方の啓発 各18.8	健康づくりや母子保健対策の推進
	30歳代	子育てや保育サービスの充実 67.3	安心して高齢期を迎えられる環境整備 57.7	企業への男女平等の考え方の啓発 25.0	健康づくりや母子保健対策の推進 15.4	男性対象の家事などの講座の推進 13.5
	40歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 71.0	子育てや保育サービスの充実 59.7	企業への男女平等の考え方の啓発 32.3	審議会などへの女性の登用の促進 17.7	健康づくりや母子保健対策の推進 12.9
	50歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 65.6	子育てや保育サービスの充実 64.4	企業への男女平等の考え方の啓発 36.7	審議会などへの女性の登用の促進 32.2	健康づくりや母子保健対策の推進 14.4
	60歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 77.6	子育てや保育サービスの充実 41.6	審議会などへの女性の登用の促進 27.2	企業への男女平等の考え方の啓発 25.6	健康づくりや母子保健対策の推進 16.8
	70歳以上	安心して高齢期を迎えられる環境整備 70.8	子育てや保育サービスの充実 32.3	審議会などへの女性の登用の促進 21.9	企業への男女平等の考え方の啓発 各20.8	健康づくりや母子保健対策の推進
男性	20歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 54.3	子育てや保育サービスの充実 37.1	企業への男女平等の考え方の啓発 28.6	健康づくりや母子保健対策の推進 各20.0	審議会などへの女性の登用の促進
	30歳代	子育てや保育サービスの充実 47.4	企業への男女平等の考え方の啓発 42.1	安心して高齢期を迎えられる環境整備 34.2	健康づくりや母子保健対策の推進 各23.7	特に何も望まない
	40歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 55.8	子育てや保育サービスの充実 53.8	企業への男女平等の考え方の啓発 25.0	男女の悩みなどの相談窓口の提供 21.2	健康づくりや母子保健対策の推進 17.3
	50歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 56.5	子育てや保育サービスの充実 46.8	企業への男女平等の考え方の啓発 32.3	審議会などへの女性の登用の促進 27.4	学校での男女平等教育の推進 14.5
	60歳代	安心して高齢期を迎えられる環境整備 56.4	企業への男女平等の考え方の啓発 各38.5	子育てや保育サービスの充実 23.9	審議会などへの女性の登用の促進 23.9	学校での男女平等教育の推進 23.1
	70歳以上	安心して高齢期を迎えられる環境整備 65.6	企業への男女平等の考え方の啓発 各30.1	審議会などへの女性の登用の促進 26.9	学校での男女平等教育の推進 26.9	子育てや保育サービスの充実 25.8

（複数回答）

性×年代別で見ると、女性では、「子育てや保育サービスの充実」の割合が20～30歳代で、「安心して高齢期を迎えられる環境整備」が40歳以上で最も高くなっている。

男性では、「安心して高齢期を迎えられる環境整備」の割合が30歳代を除く全ての年代で、「子育てや保育サービスの充実」が、30歳代で最も高くなっている。